

令和6年度

# 企業局の概要



 宮城県企業局

## 表紙

左上:中峰浄水場(水道用水供給事業)

右上:名取川水管橋(工業用水道事業)

左下:仙台港国際ビジネスサポートセンター(地域整備事業)

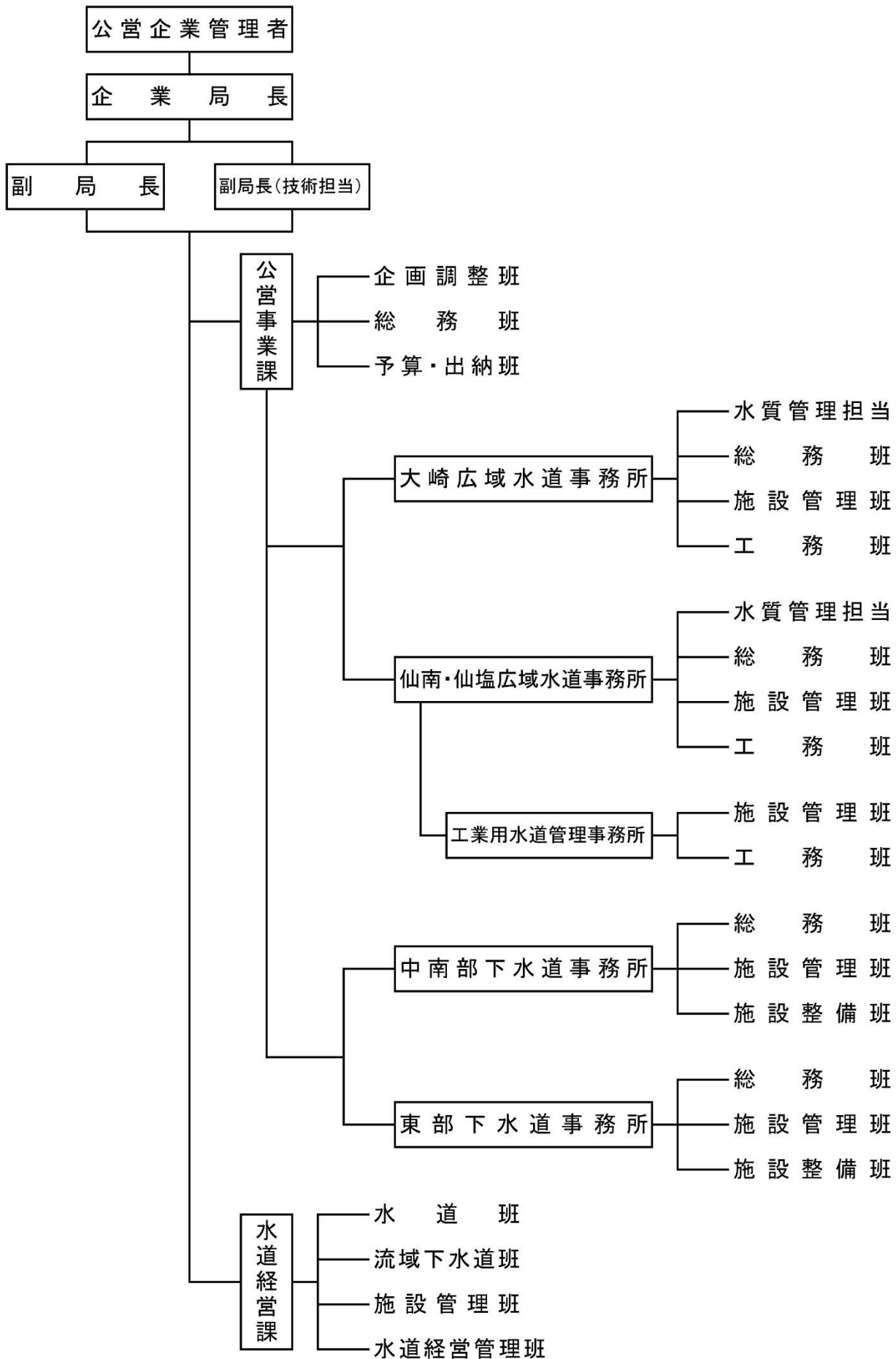
右下:仙塩浄化センター(流域下水道事業)

# 目 次

<b>I 企業局の組織</b> .....	1
1 組織図.....	1
2 職員数一覧表.....	2
3 所在地.....	2
4 分掌事務.....	3
<b>II 令和6年度予算の概要</b> .....	4
<b>III 事業の概要</b> .....	6
1 水道用水供給事業.....	7
(1) 大崎広域水道事業.....	7
(2) 仙南・仙塩広域水道事業.....	12
2 工業用水道事業.....	21
(1) 仙塩工業用水道事業.....	21
(2) 仙台圏工業用水道事業.....	26
(3) 仙台北部工業用水道事業.....	31
3 地域整備事業.....	36
4 流域下水道事業.....	40
(1) 仙塩流域下水道事業.....	40
(2) 阿武隈川下流流域下水道事業.....	47
(3) 鳴瀬川流域下水道事業.....	53
(4) 吉田川流域下水道事業.....	59
(5) 北上川下流流域下水道事業.....	65
(6) 北上川下流東部流域下水道事業.....	72
(7) 迫川流域下水道事業.....	79

# I 企業局の組織

## 1 組織図(令和6年4月1日現在)



## 2 職員数一覧

(令和6年4月1日現在)

課所名	区分	事務	技術	労務	併任	合計
公営事業課		15(－)	1(－)		[21]	16(－)
水道経営課		16(－)	14(－)			30(－)
本局計		31(－)	15(－)		[21]	46(－)
大崎広域水道事務所		3(2)	12(－)	1(－)		16(2)
仙南・仙塩広域水道事務所		5(－)	19(1)	0(1)		24(2)
中南部下水道事務所		4(－)	9(2)			13(2)
東部下水道事務所		4(－)	12(－)			16(－)
地方機関計		16(2)	52(3)	1(1)		69(6)
合計		47(2)	67(3)	1(1)	[21]	115(6)

※1 公営企業管理者を除く職員数を計上しています。副局長は公営事業課に含めています。

※2 ( )内の数字は暫定再任用職員数で、外書きで計上しています。

## 3 所在地

課所名	郵便番号	所在地	電話番号
(本局)			
公営事業課	〒980-8570	仙台市青葉区本町三丁目8番1号	022-211-3413
水道経営課	〃	〃	022-211-3417
(地方機関)			
大崎広域水道事務所	〒981-4354	加美郡加美町字麓山1番地の9	0229-67-6512
仙南・仙塩広域水道事務所	〒989-0232	白石市福岡長袋字南部山7番地の1	0224-25-8890
(工業用水道管理事務所)	〒983-0835	仙台市宮城野区大槻1番6号	022-293-5101
中南部下水道事務所	〒985-0832	多賀城市大代六丁目4番1号	022-367-4001
東部下水道事務所	〒986-0861	石巻市蛇田字新ノ切5番地の2	0225-23-7381

## 4 分掌事務

## (1) 本局

区 分	分 掌 事 務
公 営 事 業 課	1 事業の総合的企画, 調整及び管理に関すること。 2 広報及び広聴に関すること。 3 公印の管理に関すること。 4 成案文書の審査並びに文書の收受, 発送, 編纂及び保存に関すること。 5 管理規程等の制定及び改廃に関すること。 6 局の組織及び職員の定数に関すること。 7 職員の任免, 分限, 懲戒その他の身分取扱に関すること。 8 給与, 勤務時間その他の勤務条件, 研修及び福利厚生に関すること。 9 職員の表彰に関すること。 10 予算の原案の作成及び予算の執行計画に関すること。 11 事業の資金計画及び財務計画に関すること。 12 資産の取得, 管理及び処分に係る事務の総括並びに議決事件の議案に関すること。 13 決算の調製並びに業務状況及び計理状況の報告に関すること。 14 経理事務その他出納事務に関すること。 15 会計事務の指導に関すること。 16 工事の検査に関すること。 17 有価証券及び担保物の出納, 保管に関すること。 18 出納検査に関すること。 19 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。 20 地域整備事業に係る経営の基本計画に関すること。 21 地域整備事業に係る施設の整備及び資産の運用に関すること。 22 地域整備事業に係る貸付に関すること。 23 地方機関に関すること。 24 その他課の分掌に属しない事務の調整に関すること。
水 道 経 営 課	1 広域水道用水供給事業の経営の基本計画に関すること。 2 広域水道用水供給事業の用水供給に関すること。 3 工業用水道事業の経営の基本計画に関すること。 4 工業用水道事業の用水供給に関すること。 5 流域下水道事業の経営の基本計画に関すること。 6 流域下水道事業の下水処理に関すること。 7 局内において施行する工事及び技術管理・指導に関すること。 8 水道経営管理に関すること。

## (2) 地方機関

区 分	分 掌 事 務
大 崎 広 域 水 道 事 務 所	大崎広域水道及び仙台北部工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
仙 南 ・ 仙 塩 広 域 水 道 事 務 所	仙南・仙塩広域水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
工 業 用 水 道 事 務 所	仙塩工業用水道及び仙台圏工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
中 南 部 下 水 道 事 務 所	仙塩, 阿武隈川下流, 鳴瀬川及び吉田川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。
東 部 下 水 道 事 務 所	北上川下流, 北上川下流東部及び迫川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。

## II 令和6年度予算の概要

### 1 収益的収支予算

企業局所管4事業会計の収益的収支予算のうち、収益的収入は233億3千余万円で前年度より2億2千3百余万円の減(△0.9%)、収益的支出は235億1千3百余万円で前年度より3百余万円の増(±0.0%)、収支差額は1億7千6百余万円の赤字で前年度より2億2千6百余万円の減となっています。

### 2 資本的収支予算

資本的収入は113億9千7百余万円で前年度より18億2千余万円の増(+19.0%)、資本的支出は182億6千7百余万円で前年度より33億2千4百余万円の増(+22.2%)、収支差額は△68億7千余万円で、資本的収入が資本的支出に対して不足する額は前年度より15億4百余万円の増となっています。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額68億7千余万円は、過年度損益勘定留保資金等で補てんすることとしています。

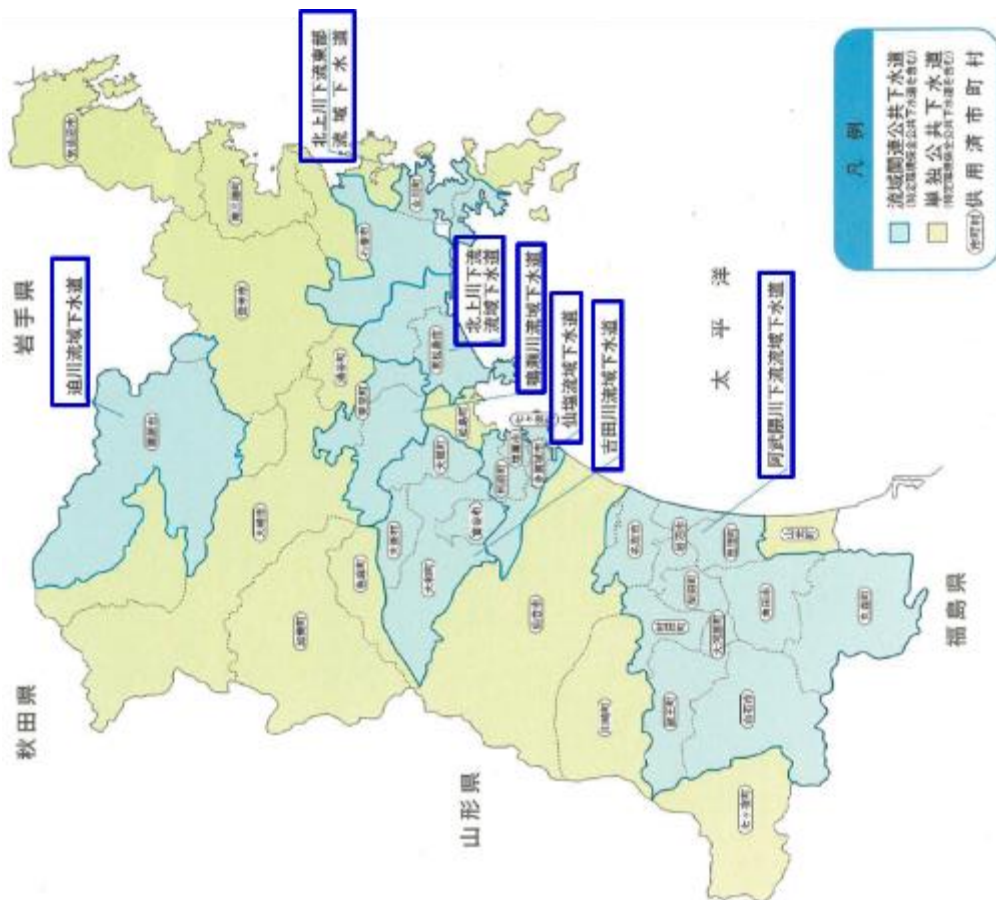




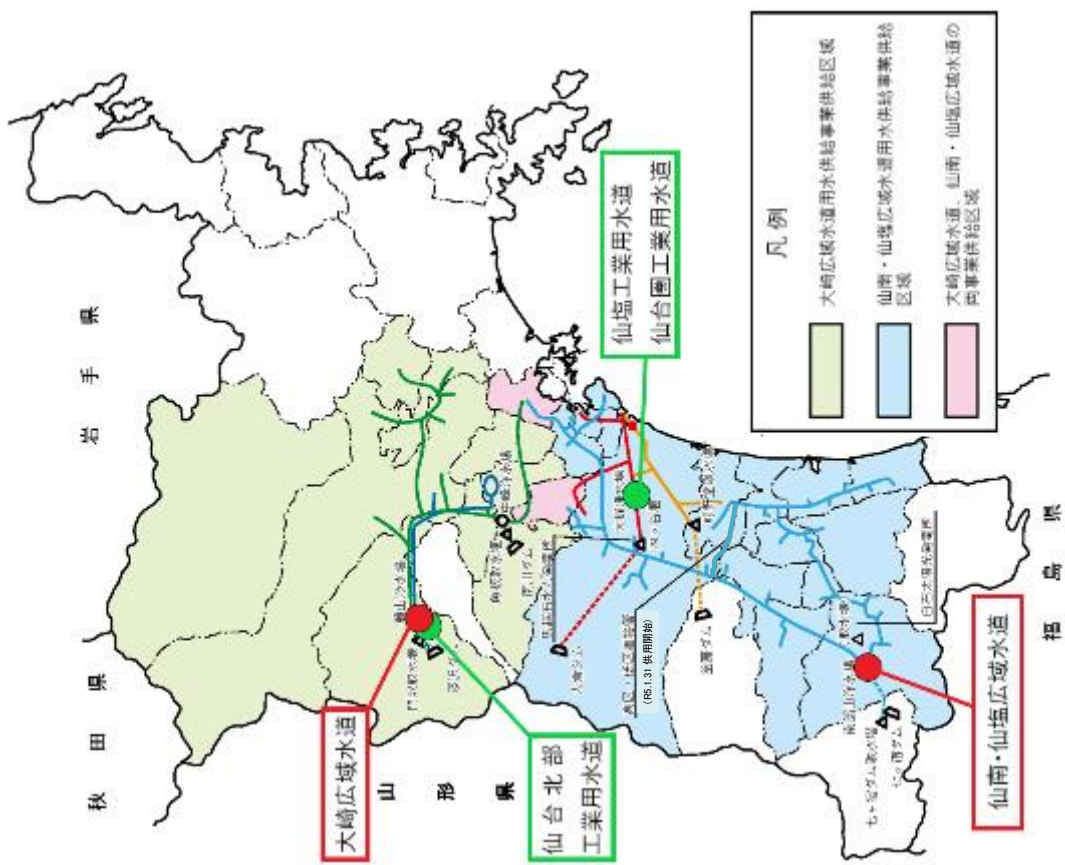
### III 事業の概要

企業局事業概要図

#### 流域下水道事業



#### 水道用水供給事業・工業用水道事業



## 1 水道用水供給事業

本県が実施する水道用水供給事業は、主に大崎地方を中心とする地域の水道用水の需要に対応するため建設された「大崎広域水道」と仙南及び仙塩地域の水道用水の需要に対応するため建設された「仙南・仙塩広域水道」があります。

なお、両水道用水供給事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション)方式により、民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を実施しています。

### (1) 大崎広域水道事業

#### ① 事業の概要

本事業は、漆沢ダム及び南川ダムを水源とする2系統の浄水場から、大崎地方を中心とする10市町村に対し、一日最大120,000 m<sup>3</sup>の水道用水を供給するものです。

昭和48年度から建設工事に着手した漆沢ダム系については、昭和55年度から給水を開始し、現在は、一日最大82,300 m<sup>3</sup>の給水が可能となっています。

また、昭和58年度から建設工事に着手した南川ダム系については、平成6年度に第一期工事が完成(平成7年度から給水開始)し、現在は、一日最大18,850 m<sup>3</sup>の給水が可能となっています。

#### ● 令和6年度の業務予定量

給水市町村数	3市6町1村
年間総給水量	21,707,800 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	59,473 m <sup>3</sup>

#### ● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
漆沢ダム水系	88,500 m <sup>3</sup>	82,300 m <sup>3</sup>	鳴瀬川表流水(漆沢ダム)
南川ダム水系	40,000 m <sup>3</sup>	37,700 m <sup>3</sup>	吉田川表流水(南川ダム)
計	128,500 m <sup>3</sup>	120,000 m <sup>3</sup>	

#### ● 受水市町村及び給水量(最終給水量) (単位: m<sup>3</sup>/日)

市町村名	給水量	市町村名	給水量
大崎市	46,300	大和町	23,500
栗原市	3,400	大郷町	3,000
富谷市	9,900	松島町	4,000
加美町	7,000	大衡村	6,500
涌谷町	8,800	計	120,000
美里町	7,600		

#### ● 給水計画

漆沢系	昭和55年4月(給水開始)	41,150 m <sup>3</sup> /日
	昭和58年4月	82,300 m <sup>3</sup> /日
南川系	平成7年4月(給水開始)	18,850 m <sup>3</sup> /日
	水需要により対応	37,700 m <sup>3</sup> /日

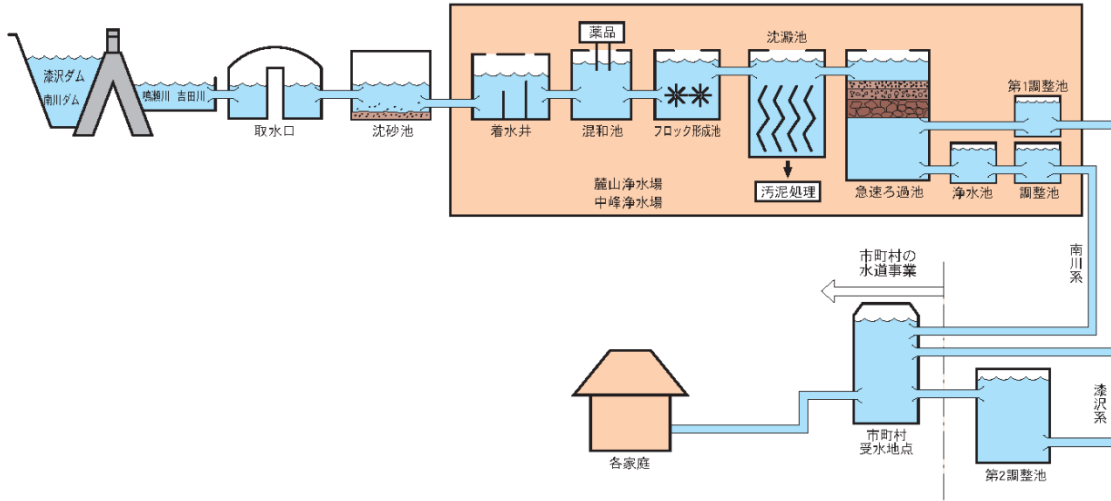
#### ● 計画目標年次 未定

#### ● 計画給水人口 318千人

● 工 期

漆 沢 系	第一期工事	昭和 48 年度～昭和 54 年度
	第二期工事	昭和 55 年度～昭和 57 年度
南 川 系	第一期工事	昭和 58 年度～平成 6 年度
	第二期工事	水需要により対応

■ 大崎広域水道事業のしくみ



② 事業費

(単位:千円)

区 分		全 体 計 画	漆沢系と南川系第一期工事 まで	南川系第二期工事以降
貯水施設 (ダム負担金)	漆沢系	2,413,440	2,413,440	
	南川系	4,344,090	4,344,090	
	計	6,757,530	6,757,530	
広域化施設	漆沢系	20,258,770	19,864,834	393,936
	南川系	12,986,805	11,957,045	1,029,760
	計	33,245,575	31,821,879	1,423,696
建設利息		18,920,581	17,159,395	1,761,186
合 計		58,923,686	55,738,804	3,184,882
財 源 内 訳	国庫補助金	12,123,336	11,668,895	454,441
	企業債	42,580,000	40,349,000	2,231,000
	出資金	3,806,000	3,308,000	498,000
	その他	414,350	412,909	1,441
	合 計	58,923,686	55,738,804	3,184,882

● ダム建設費等負担割合

〔 漆沢ダム 工期 昭和 43～55 年度 事業費 166.5 億円  
南川ダム 工期 昭和 48～62 年度 事業費 210.0 億円 〕

(単位:%)

区 分	漆 沢 ダ ム		南 川 ダ ム	
	建 設 費	管 理 費	建 設 費	管 理 費
上 水 道	14.5	14.0	20.7	20.7
上 水 道 ( 松 島 町 )	0.2	0.2	-	-
工 業 用 水	11	10.7	-	-
公 共 電	74.1	71.8	79.3	79.3
発 電	0.2	3.3	-	-
計	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 施設の概要

系統別 施設区分	漆沢系	南川系
貯水施設	漆沢ダム[宮城県] 目的 洪水調節、流水の正常な機能維持、発電 型式 中央コア型ロックフィルダム 湛水面積 0.83 km <sup>2</sup> 総貯水量 18,000,000 m <sup>3</sup> 本事業取水分 上水道 88,500 m <sup>3</sup> /日 工業用水 60,000 m <sup>3</sup> /日	南川ダム[宮城県] 目的 洪水調節、流水の正常な機能維持 型式 重力式コンクリートダム 湛水面積 0.9 km <sup>2</sup> 総貯水量 10,000,000 m <sup>3</sup> 本事業取水分 上水道 40,000 m <sup>3</sup> /日
取水施設	取水堰 L=40.0m H=3.3m 固定部 L=30.0m 可動部 L=3.0m×2門 取水口 2門 土砂吐ゲート、管理橋 管理室、電気計装設備一式	取水堰[可動堰] L=20.0m L=2.1m 洪水吐ゲート1門、水位調節ゲート2門 水道用取水ゲート2門 管理橋、電気計装設備一式
導水施設	導水トンネル等 2坑 L=4,313m 沈砂池 2池 導水管 φ900mm～φ1,350mm L=4,345m 水管橋 2橋 L=151m 管理室、電気計装設備一式	沈砂池 2池 ポンプ井 1井 立軸斜流ポンプ 3台(4台) 導水管 φ700mm L=1,758m ポンプ棟、動力・電気計装設備一式 管理棟、活性炭注入設備 水管橋 1橋
浄水施設	着水井 1井 活性炭接触池 1池 混和池 2池 フロック形成池 4池 薬品沈殿池 4池 急速ろ過池 8池 第一調整池 RC造 2池 管理本館 RC 地下1階、地上3階建 造 延床面積 3,646 m <sup>2</sup> 外 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式	着水井 1井 混和池 2池 フロック形成池 2池 薬品沈殿池 2池 急速ろ過池 4池(6池) 浄水池 RC造 2池 調整池 1池 管理棟 RC造 地下1階、地上2階建 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外
送水施設	第二調整池 PC造 1池 送水管敷設 φ100mm～φ1,350mm L=99,806m 増圧ポンプ設備 水管橋 17橋[うち添架 2] 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外	送水管敷設 φ200mm～φ600mm L=25,871m 水管橋 8橋[うち添架 1] 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外

( )内は最終事業計画

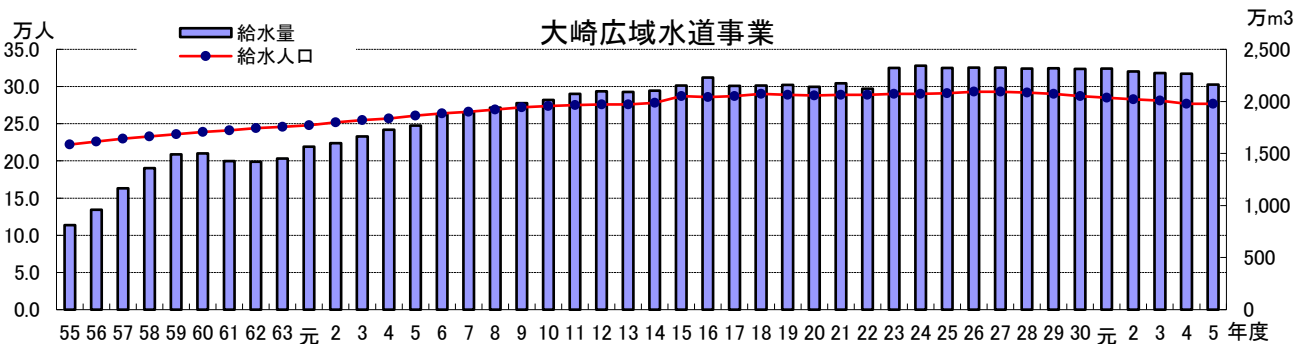
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
A 施設能力	m <sup>3</sup> /日	101,150	101,150	101,150	101,150	101,150
B 契約水量	m <sup>3</sup> /日	74,150	74,150	74,000	73,850	74,350
C 責任水量	m <sup>3</sup> /日	59,320	59,320	59,200	59,080	59,480
D 取水量	m <sup>3</sup> /年	24,752,254	23,897,466	21,286,300	—	—
E 給水量	m <sup>3</sup> /年	22,895,658	22,776,890	22,692,453	21,624,000	21,707,800
F 1日平均給水量	m <sup>3</sup>	62,728	62,402	62,171	59,082	59,473
G 1日最大給水量	m <sup>3</sup>	(1/14)71,119	(3/20)69,045	(1/27)67,734	—	—
H 有効水量	m <sup>3</sup> /年	22,869,287	22,724,544	22,668,761	—	—
I 1日平均有効水量	m <sup>3</sup>	62,656	62,259	62,106	—	—
J 無効水量	m <sup>3</sup> /年	26,371	52,346	23,692	—	—
K 有収水量	m <sup>3</sup> /年	22,867,032	22,720,606	22,654,001	21,624,000	21,707,800
L 1日平均有収水量	m <sup>3</sup>	62,649	62,248	62,066	59,082	59,473
M 動力費	千円	60,707	57,952	8,146	0	0
N 薬品費	千円	45,971	47,671	12	58	65
O 資本費	千円	1,370,549	1,400,137	1,305,992	1,226,493	1,232,653

※R2～R4は決算額(消費税抜き)、R5は最終現計予算額(消費税込み)、R6は当初予算額(消費税込み)で作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。契約水量、責任水量は受水市町村との覚書ベース。資本費は、減価償却費、企業債等支払利息(一時借入金利息を除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額。

■ 給水人口及び給水量(有収水量)の推移(各年度3月末日現在)



※ H2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

\* = (料金収入+みやぎ型管理運営方式運営権者収受額)/有収水量

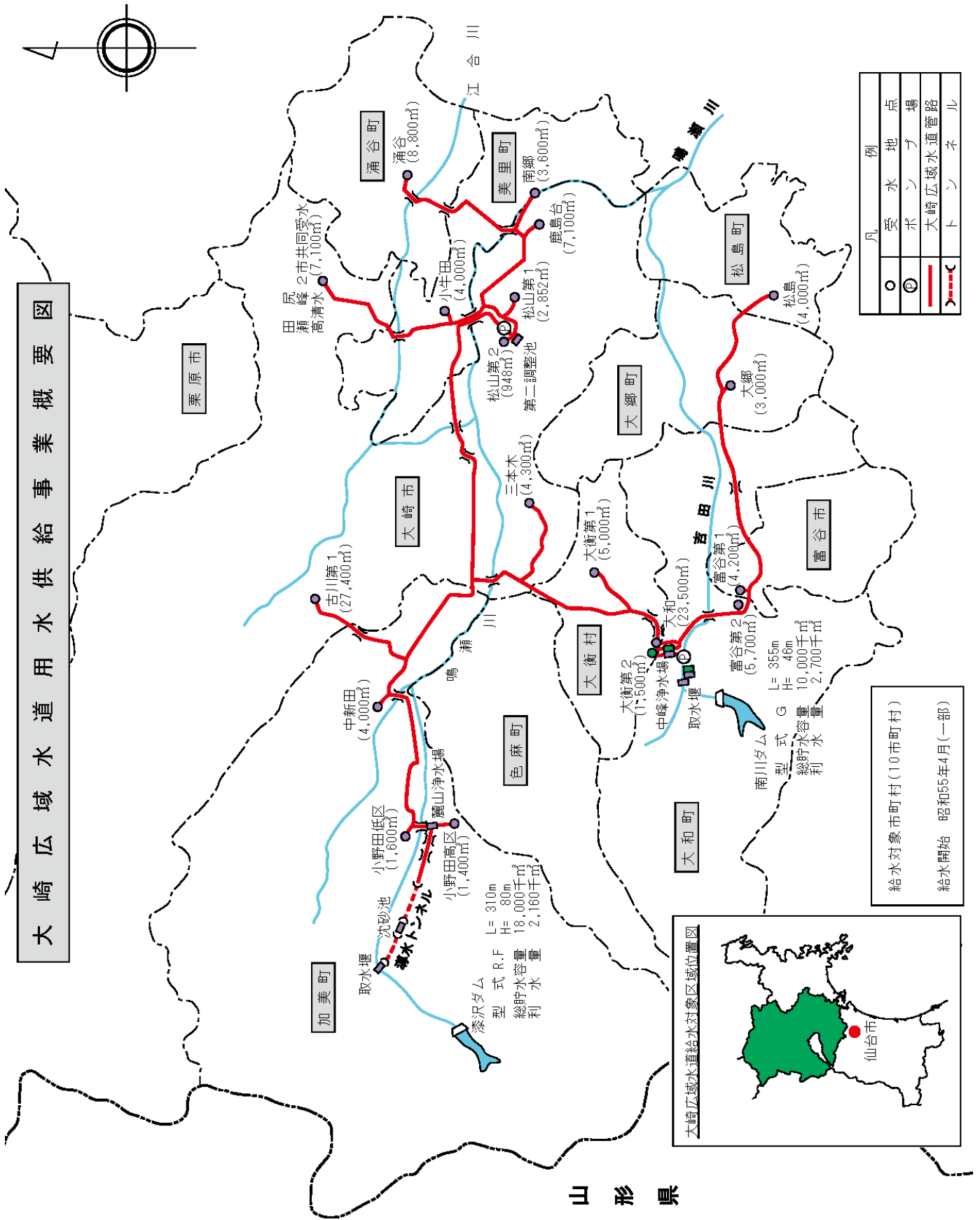
年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
基本料金	円/m <sup>3</sup> /月	496.00				485.00
使用料金	円/m <sup>3</sup>	91.00				89.00
供給単価(V/K)	円/m <sup>3</sup>	121.97	122.53	60.33 *122.58	68.03 *136.43	64.07 *133.33
給水原価(W/K)	円/m <sup>3</sup>	109.73	110.43	77.41	106.78	113.11
資本費(O/K)	円/m <sup>3</sup>	59.94	61.62	57.65	56.72	56.78

※ R2～R4は決算額(消費税抜き)、R5は最終現計予算額(消費税込み)、R6は当初予算額(消費税込み)で作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。

● 収支状況

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
収入	営業収益(除受託)	千円	2,791,971	2,786,878	1,375,407	1,481,910	1,461,679
	Vうち料金収入	千円	2,789,163	2,783,925	1,366,641	1,471,139	1,390,849
	営業外収益	千円	174,124	249,961	183,351	279,348	351,512
	特別利益	千円	36,050	2,092	82,315	31,035	0
	計(除受託)	千円	3,002,145	3,038,931	1,641,073	1,792,293	1,813,191
支出	営業費用	千円	2,439,095	2,441,929	1,753,768	2,138,143	2,317,463
	営業外費用	千円	74,256	67,231	58,399	212,499	190,104
	特別損失	千円	75,576	20,087	242,405	16,897	0
	W経常費用(除受託)	千円	2,509,239	2,509,129	1,753,699	2,308,924	2,455,299
	計(除受託)	千円	2,584,816	2,529,217	1,996,104	2,325,821	2,455,299
当年度純利益(除受託)	千円	417,329	509,715	▲355,031	▲533,528	▲642,108	

※R2～R4は決算額(消費税抜き)、R5は最終現計予算額(消費税込み)、R6は当初予算額(消費税込み)で作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。



(2) 仙南・仙塩広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、七ヶ宿ダムを水源とし、仙南及び仙塩地域の 17 市町に対して一日最大 553,300 m<sup>3</sup>の水道用水を供給するものです。

昭和 52 年度から建設工事に着手し、平成元年度までに一日最大 150,000 m<sup>3</sup>の取水に対応する第一期工事が完了。平成 2 年度からは一部 (15 市町) 給水を開始し、平成 4 年度からは 17 市町全てに給水しています。

また、平成 2 年度から着手した第二期工事が平成 5 年度に完了し、平成 6 年 4 月からはダム取水系の計画給水量である一日最大 279,000 m<sup>3</sup>の給水が可能となっています。

● 令和6年度の業務予定量

給水市町村数	8市9町
年間総給水量	65,074,320 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	178,286 m <sup>3</sup>

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
ダム取水	300,000 m <sup>3</sup>	279,000 m <sup>3</sup>	七ヶ宿ダム直接
河道取水(白石川)	295,000 m <sup>3</sup>	274,300 m <sup>3</sup>	白石川表流水
計	595,000 m <sup>3</sup>	553,300 m <sup>3</sup>	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量)

(単位: m<sup>3</sup>/日)

市 町 名	給水量	市 町 名	給水量
白石市	24,700	仙台市	331,900
角田市	21,200	塩竈市	11,500
岩沼市	21,800	名取市	20,700
蔵王町	4,500	多賀城市	21,000
大河原町	8,200	富谷市	11,500
村田町	7,400	松島町	5,700
柴田町	20,300	七ヶ浜町	10,900
亘理町	14,300	利府町	12,200
山元町	5,500		
仙南計	127,900	仙塩計	425,400
		合計	553,300

● 給水計画

ダム取水	平成 2 年 4 月(一部給水開始)	139,500 m <sup>3</sup> /日
	平成 6 年 4 月	279,000 m <sup>3</sup> /日
河道取水	水需要により対応(第三期工事)	139,500 m <sup>3</sup> /日
	水需要により対応(第四期工事)	134,800 m <sup>3</sup> /日

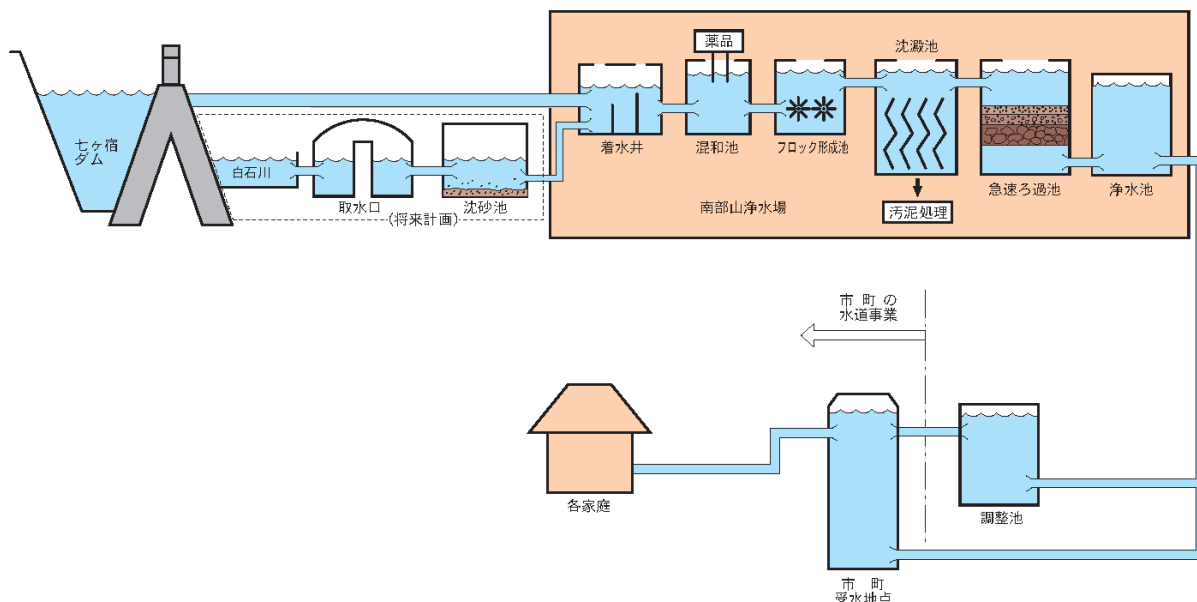
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 1,931 千人

● 工 期

第一期工事(ダム系)	昭和 52 年度～平成元年
第二期工事(ダム系)	平成 2 年度～平成 5 年
第三期工事(河道系)	水需要により対応
第四期工事(河道系)	水需要により対応

■ 仙南・仙塩広域水道用水供給事業のしくみ



② 事業費

(単位:千円)

区 分	全体計画	第二期工事まで	第三期工事以降	
貯水施設(ダム負担金)	60,387,962	60,387,962		
広域化施設	第一期工事	113,627,437		
	第二期工事	4,422,187		
	第三期工事	16,897,601	14,918,831	
	第四期工事	5,188,743	5,188,743	
	計	140,135,968	120,028,394	20,107,574
建設利息等	110,395,811	108,002,546	2,393,265	
合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839	
財源内訳	国庫補助金	66,404,061	59,836,615	6,567,446
	企業債	212,865,000	203,640,000	9,225,000
	出資金	31,427,000	24,721,000	6,706,000
	その他	223,680	221,287	2,393
	合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839

● 七ヶ宿ダム建設負担割合(工期 昭和 48～平成 3 年度 事業費 1,266.8 億円)

(単位:%)

区 分	建設費	管理費
上 水 道	47.7	47.7
工 業 用 水	4.5	4.5
公 共	47.8	47.8
計	100.0	100.0



③ 施設の概要

施設区分	概要		
貯水施設	七ヶ宿ダム[国土交通省] 目的 洪水調節、流水の正常な機能維持、都市用水、河川維持 型式 中央コア型ロックフィルダム 湛水面積 4.1 km <sup>2</sup> 総貯水量 109,000,000 m <sup>3</sup> 本事業取水分 595,000 m <sup>3</sup> /日		
取水施設	ダム直接取水	河道取水	
	取水塔 独立型シリンダーゲート式 H=48.5m シリンダー直径=1.2~2.2m 取水管 φ=1,200mm 管理橋 W=2.0m L=68.0m 取水管路 φ=1,200mm L=815m	( 可動堰 堰全長 80.5m 堰高 3.6m 可動堰 3 スパン 取水管 φ=1,800mm L=825m 取水口 RC造 沈砂池 RC造 4池 )	
導水施設	導水トンネル R=0.9 幌形[φ1,800mm] L=11,135m 水管橋 3橋 水路橋 1橋 総延長 11,703m	( 導水管 φ1,500mm L=2,400m ポンプ 横軸両吸込渦巻ポンプ 2,200KW 5台 ポンプ棟 電気計装設備一式 )	
浄水施設	着水井 1井(2井) 薬品混和池 2池(4池) フロック形成池 4池(8池) 傾斜板式横流沈殿池 4池(8池) 重力式急速ろ過池 20池(40池) 管理本館 RC造 地下1階、地上3階建 延床面積 5,326 m <sup>2</sup> 塩素混和池 2池 浄水池 2池		
送水施設	高区系[4市5町]	高区・低区送水連絡管	低区系[4市4町]
	調整池 RC造 2池 送水管 φ2,400mm~φ150mm L=123,409m 水管橋 24橋 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC造 2池 送水管 φ1,000mm~φ800mm L=13,075m 水管橋 5橋 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC造 2池 送水管 φ1,200mm~φ150mm L=77,060m 水管橋 13橋 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外

( )内は最終事業計画

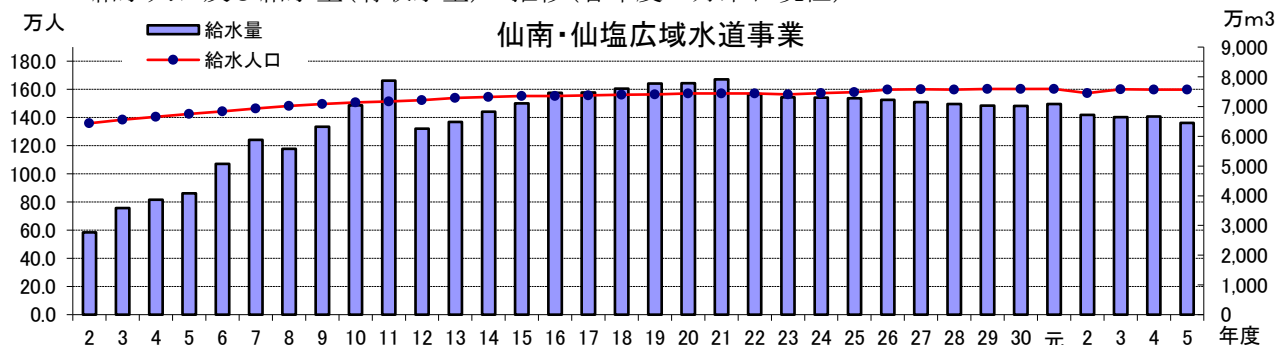
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	279,000	279,000	279,000	279,000	279,000
B 契約水量 m <sup>3</sup> /日	221,900	221,400	221,100	220,300	222,900
C 責任水量 m <sup>3</sup> /日	177,520	177,120	176,880	176,240	178,320
D 取水量 m <sup>3</sup> /年	68,952,390	67,290,090	68,222,270	—	—
E 給水量 m <sup>3</sup> /年	67,203,348	66,448,660	66,902,284	64,507,680	65,074,320
F 1日平均給水量 m <sup>3</sup>	184,119	182,051	183,279	176,250	178,286
G 1日最大給水量 m <sup>3</sup>	(2/17)224,255	(1/25)204,390	(1/28)227,726	—	—
H 有効水量 m <sup>3</sup> /年	67,203,318	66,448,184	66,896,712	—	—
I 1日平均有効水量 m <sup>3</sup>	184,119	182,050	183,279	—	—
J 無効水量 m <sup>3</sup> /年	30	476	5,572	—	—
K 有収水量 m <sup>3</sup> /年	67,200,814	66,440,298	66,663,160	64,507,680	65,074,320
L 1日平均有収水量 m <sup>3</sup>	184,112	182,028	182,639	176,250	178,286
M 動力費 千円	43,551	46,242	3,710	95	0
N 薬品費 千円	67,651	57,732	32	153	0
O 資本費 千円	6,150,465	6,033,960	6,063,394	6,021,032	6,208,949

※R2～R4は決算額(消費税抜き)、R5は最終現計予算額(消費税込み)、R6は当初予算額(消費税込み)で作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。契約水量、責任水量は受水市町村との覚書ベース。資本費は、減価償却費、企業債等支払利息(一時借入金利息を除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額。

■ 給水人口及び給水量(有収水量)の推移(各年度3月末日現在)



※ H2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

\* = (料金収入+みやぎ型管理運営方式運営権者収受額)/有収水量

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
基本料金 円/m <sup>3</sup> /月	817.00				799.00
使用料金 円/m <sup>3</sup>	42.00				41.00
供給単価(V/K) 円/m <sup>3</sup>	123.13	123.96	101.33 *123.67	114.29 *138.70	110.09 *134.79
給水原価(W/K) 円/m <sup>3</sup>	117.58	118.92	109.11	125.16	125.44
資本費(O/K) 円/m <sup>3</sup>	91.52	90.82	90.96	93.34	95.41

※R2～R4は決算額(消費税抜き)、R5は最終現計予算額(消費税込み)、R6は当初予算額(消費税込み)で作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。

● 収支状況

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
収入	営業収益(除受託) 千円	8,274,287	8,235,775	6,770,679	7,390,458	7,204,176
	Vうち料金収入 千円	8,274,287	8,235,775	6,755,179	7,372,866	7,164,296
	営業外収益 千円	1,076,961	1,092,543	1,067,604	1,059,230	1,054,475
	特別利益 千円	113,685	48,405	47,395	39,039	0
	計(除受託) 千円	9,464,933	9,376,723	7,885,677	8,488,727	8,258,651
支出	営業費用 千円	7,485,889	7,510,116	6,969,840	7,203,837	7,399,315
	営業外費用 千円	449,934	394,723	326,757	870,011	765,951
	特別損失 千円	319,227	228,894	36,135	6,893	0
	W経常費用(除受託) 千円	7,901,795	7,901,357	7,273,875	8,073,848	8,163,156
	計(除受託) 千円	8,221,022	8,130,251	7,310,010	8,080,741	8,163,156
当年度純利益(除受託) 千円		1,243,910	1,246,471	575,667	407,986	95,495

※R2～R4は決算額(消費税抜き)、R5は最終現計予算額(消費税込み)、R6は当初予算額(消費税込み)で作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。

仙南・仙塩広域水道用水供給事業概要図



凡 例	
○	受 水 地 点
Ⓟ	ポ ン プ 場
—	仙南・仙塩広域水道管路
- - -	ト ン ネ ル

給水対象市町 (17市町)  
給水開始 平成2年4月(一部)

型堤	式高	ロックフィルダム
集水	面積	90.0m
湛水	水面	236.6km <sup>2</sup>
総貯	水量	4.1km <sup>3</sup>
有効貯	水量	109,000千m <sup>3</sup>
有最貯	水量	99,500千m <sup>3</sup>
平時最高	水位	EL 261.5m
洪水最高	水位	EL 293.5m
		EL 303.0m

⑤ 再生可能エネルギーの導入

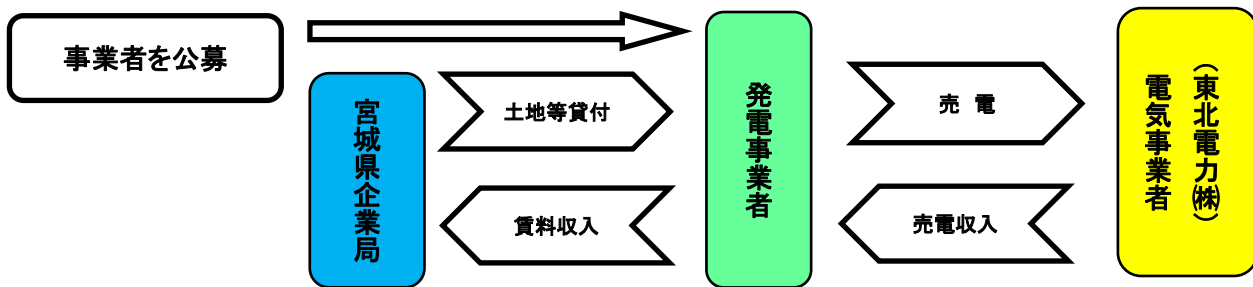
● 事業の概要

本県では、平成 24 年 6 月に「※みやぎ再生可能エネルギー導入推進指針」を策定し、東日本大震災からの復興に向け、再生可能エネルギーを活用した施策を実施し、「環境と経済の両立する宮城の実現」を目指すこととしています。

この推進プロジェクトの一つとして、「再生可能エネルギー大規模導入プロジェクト」を掲げており、企業局では、県有地や水道施設において民間活力を活用した太陽光発電及び小水力発電事業を実施し、再生可能エネルギー導入の推進を図っています。

※平成 26 年 3 月「自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画」に統合

● 事業のスキーム



● 白石太陽光発電所

- ・事業主体 東北電力(株)
- ・土地概要 面積 16,887 m<sup>2</sup> 河道系沈砂池用地(白石市福岡)
- ・発電出力 1,145kW
- ・発電電力量 123 万 kWh/年(一般家庭約 350 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料 4,086,654 円
- ・事業費 約 3 億 5,000 万円
- ・太陽光パネル 6,940 枚
- ・工事着工 平成 25 年 7 月 9 日
- ・運転開始 平成 25 年 12 月 18 日

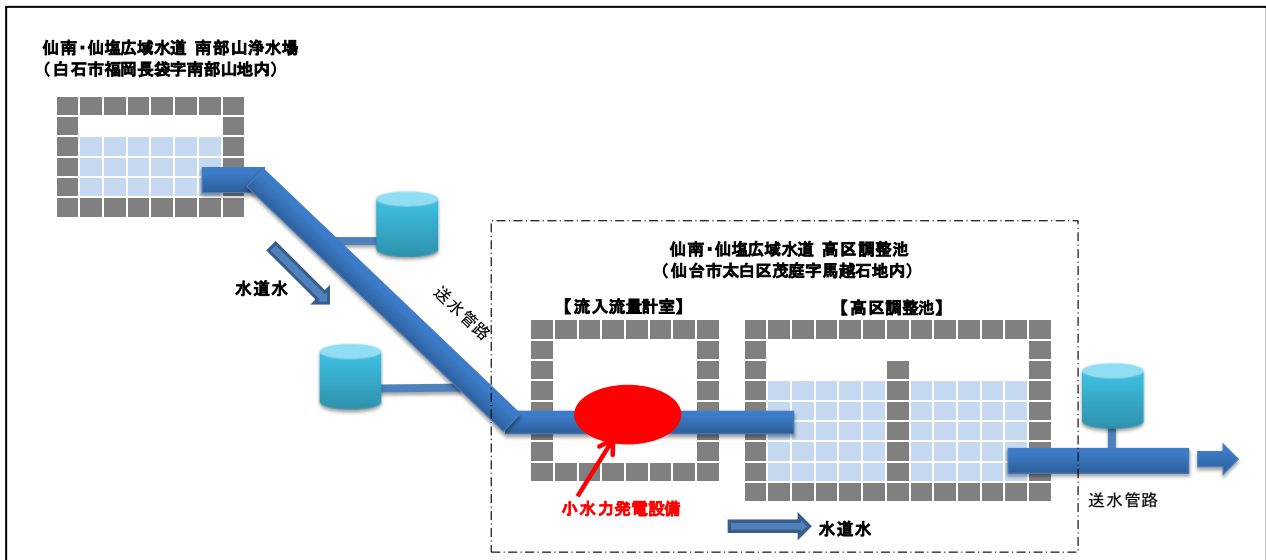


施工前

施工後

● 馬越石水力発電所

- ・事業主体 (株)アクアパワー東北
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 高区調整池(仙台市太白区茂庭)
- ・発電出力 250kW
- ・発電電力量 186 万 kWh/年(一般家庭約 550 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料、施設利用料 約 330 万円(過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 2 億 5,000 万円
- ・年間売電 約 5,400 万円(186 万×29円=5,394 万円)
- ・使用水量 平均水量:0.84m<sup>3</sup>/s(約 72,100m<sup>3</sup>/日)(年平均)  
最大水量:1.25m<sup>3</sup>/s(約 108,000m<sup>3</sup>/日)
- ・有効落差 最大 25.80m
- ・総落差 28.10m(南部山浄水場浄水池 200.10m、高区調整池 172.00m)
- ・工事着工 平成 26 年 1 月 24 日
- ・運転開始 平成 26 年 8 月 1 日



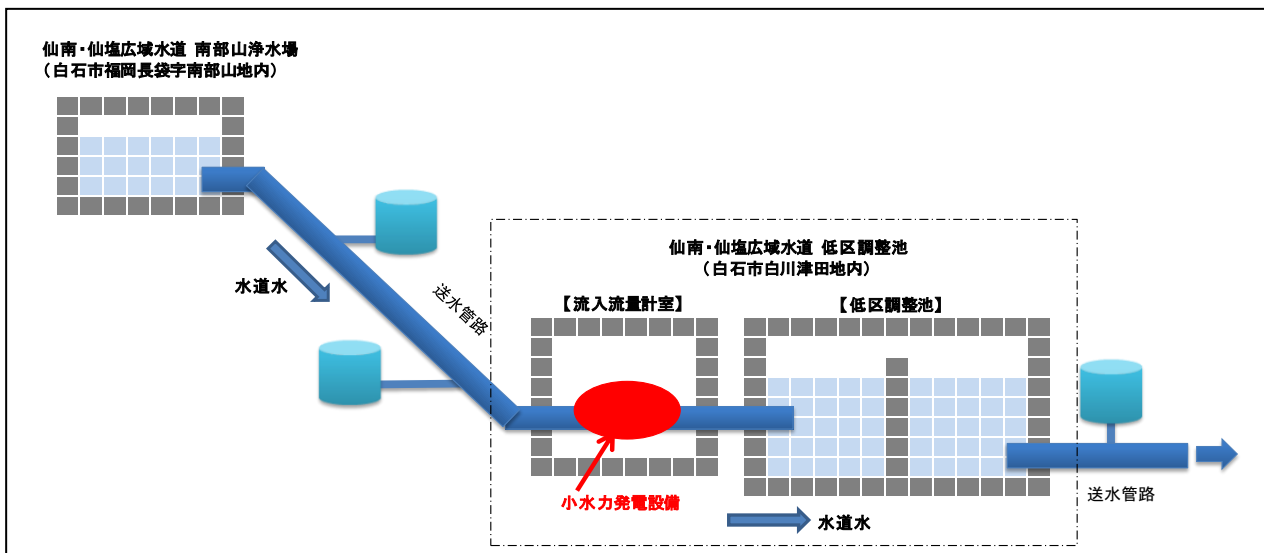
施工前



施工後

● 宮城県白石発電所

- ・事業主体 三峰川電力(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 低区調整池(白石市白川津田)
- ・発電出力 90kW
- ・発電電力量 66 万 kWh/年(一般家庭約 200 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料、施設利用料 約 180 万円(過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 1 億 500 万円
- ・年間売電 約 2,200 万円(66 万×34円=2,244 万円)
- ・使用水量 平均水量:0.46m<sup>3</sup>/s(約 40,000m<sup>3</sup>/日)(年平均)  
最大水量:0.48m<sup>3</sup>/s(約 41,000m<sup>3</sup>/日)
- ・有効落差 最大 27.90m
- ・総落差 34.10m(南部山浄水場浄水池 200.10m、低区調整池 166.00m)
- ・工事着工 平成 29 年 11 月 28 日
- ・運転開始 平成 30 年 4 月 9 日



● 仙南・仙塩広域水道用水供給事業 南部山浄水場小水力発電事業

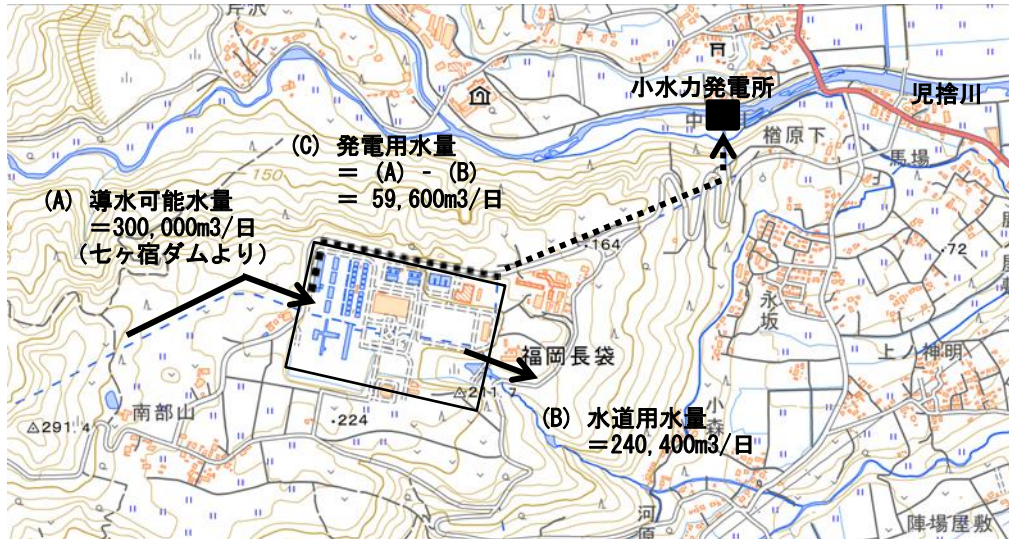
・事業概要

水道用水供給事業においては、高度成長期に策定された計画水量と現在の実供給水量の乖離が懸案となっており、乖離は、人口減少社会や節水型社会の進展により、今後、拡大することが想定される。

そのため、南部山浄水場において、この計画水量と実供給水量の差である「未利用水」を活用した小水力発電を行うもの。

- ・事業主体 企業局
- ・全体事業費 約15億円(県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入予定)
- ・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和6年度(予定)
- ・事業開始 令和7年度から(予定)
- ・年間発電量 611万kWh/年(発電出力 735kW)(予定)

・イメージ図



・事業スケジュール (予定)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
詳細検討	↔						
関係機関協議	←→						
公募スキーム検討	↔						
公募・選定		↔					
設計・工事		←→					
事業開始				●			

## 2 工業用水道事業

本県が実施する工業用水道は、仙塩地域工業開発の基盤整備の一環として建設した「仙塩工業用水道」、主として新産業都市 仙台湾地区 の拠点となる仙台港背後地の工業開発のために建設した「仙台圏工業用水道」、それに本県の内陸工業開発最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地等の内陸型工業団地へ供給するための「仙台北部工業用水道」があります。

なお、3工業用水道事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション)方式により、民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を実施しています。

### (1) 仙塩工業用水道事業

#### ① 事業の概要

本事業は仙塩特定地域総合開発計画の一環として、昭和 32 年度から昭和 38 年度までの 7 年間で建設されたもので、昭和 36 年 11 月から仙塩地区へ給水を開始しており、給水能力は一日最大 100,000 m<sup>3</sup>です。

昭和 39 年、仙塩地区を含む仙台湾地区が新産業都市に指定され、昭和 46 年の仙台港の開港等により工業導入も急速に進展し、本工業用水道はそれら地域開発に大きく寄与してきました。

また、地盤沈下現象が顕著である仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしています。

本工業用水道は建設後相当の期間が経過し、配水管等施設の老朽化が著しくなったことから、昭和 49 年度から昭和 63 年度までの 15 年間で改築工事を実施しています。また、平成元年度から建設を進めてきた仙台市泉地区及び富谷市成田地区への給水区域の拡張工事は平成 5 年度に終了し、平成 6 年 4 月 1 日より給水を開始しています。

#### ● 令和6年度の業務予定量(4月1日現在)

給水事業所数	41社
年間総給水量	10,001,000 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	27,400 m <sup>3</sup>

#### ● 水 源

一級河川名取川水系大倉川(大倉ダム)

#### ● 取 水

広瀬川四ツ谷堰(仙台市青葉区折立郷六)大倉ダム放流水 一日最大 100,000 m<sup>3</sup>

#### ● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m <sup>3</sup>	
水 質 等	濁 度	10 度以下
	水素イオン濃度	PH6.0~8.0

#### ● 給水区域

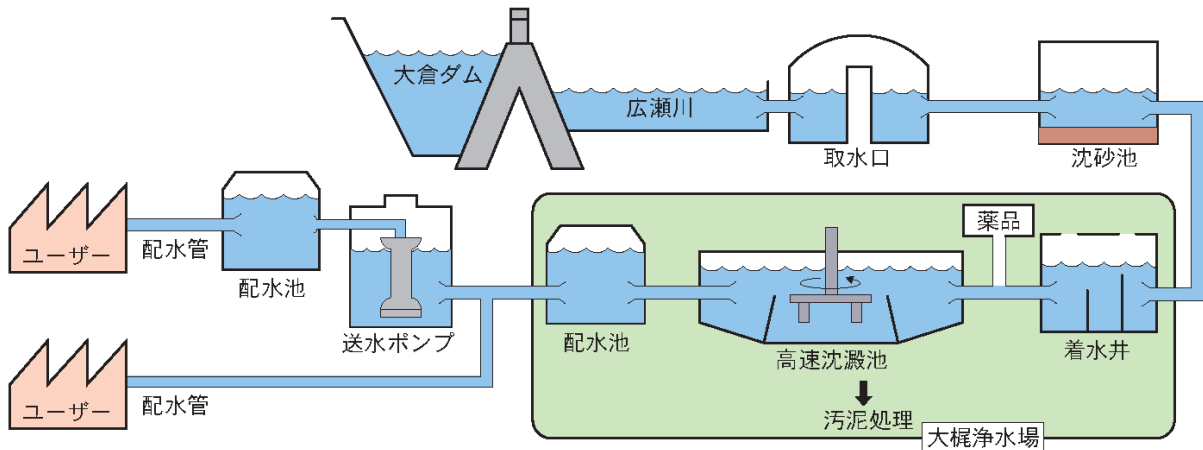
仙台市、塩竈市、多賀城市、富谷市、七ヶ浜町、利府町、大和町



● 工期及び給水開始

当初建設	着工	昭和 32 年度
	完成	昭和 38 年度
給水開始	一部給水	昭和 36 年 11 月
	全部給水	昭和 39 年 4 月
拡張工事	仙台港背後地	昭和 45 年度
	塩釜市水産加工団地	昭和 45 年度～46 年度
改築工事		昭和 49 年度～63 年度
拡張工事	泉・富谷地区	平成 元 年度～ 5 年度

■ 仙塩工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位: 千円)

区 分	事 業 費				計	
	当初建設	拡張工事	改築工事	拡張工事		
			(昭和 49～63 年度)	(平成元～5 年度)		
取水・導水・浄水工事費	421,204	-	2,793,012	66,671	3,280,887	
配水工事費	608,323	390,478	3,907,586	5,608,877	10,515,264	
用地補償費	24,296	480	336,397	200,178	561,351	
その他	36,177	23,042	672,494	697,131	1,428,844	
計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346	
財源内訳	国庫補助金	138,000	-	1,250,800	1,917,829	3,306,629
	企業債	935,000	414,000	6,299,697	1,618,000	9,266,697
	その他	17,000	-	158,992	3,037,028	3,213,020
	計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346

● 大倉ダム建設費負担割合(工期 昭和 32～36 年 事業費 2,762,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工業用水	5.6 %	5.6 %
公共	64.2 %	63.1 %
上水道	29.4 %	30.5 %
発電	0.8 %	0.8 %
計	100.0 %	100.0 %

③ 施設の概要

項目	概要
貯水施設	大倉ダム[宮城県] 目的 洪水調整、かんがい、発電 上水道[135,000 m <sup>3</sup> /日] 工業用水道[100,000 m <sup>3</sup> /日] 型式 ダブルアーチ 湛水面積 1.67 km <sup>2</sup> 総貯水量 28,000,000 m <sup>3</sup>
取水施設	取水口、自動除じん機
導水施設	導水路延長 隧道、暗渠等 8,762m 導水連絡管 (φ700mm～φ1,000mm)5,287m
浄水施設	着水井 1井 接合分水井 1井 高速沈殿池 4池 計量室 1式 中央操作室 1棟 電気計装施設 1式
送水施設	配水池 大槻配水池 2池(1池容量2,000 m <sup>3</sup> ) 富谷配水池 2池(1池容量1,000 m <sup>3</sup> ) 配水管延長 φ100mm～φ1,350mm 71,306m 水管橋 13橋 配水連絡管 φ500mm 626m 送水ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ 220kW 4台

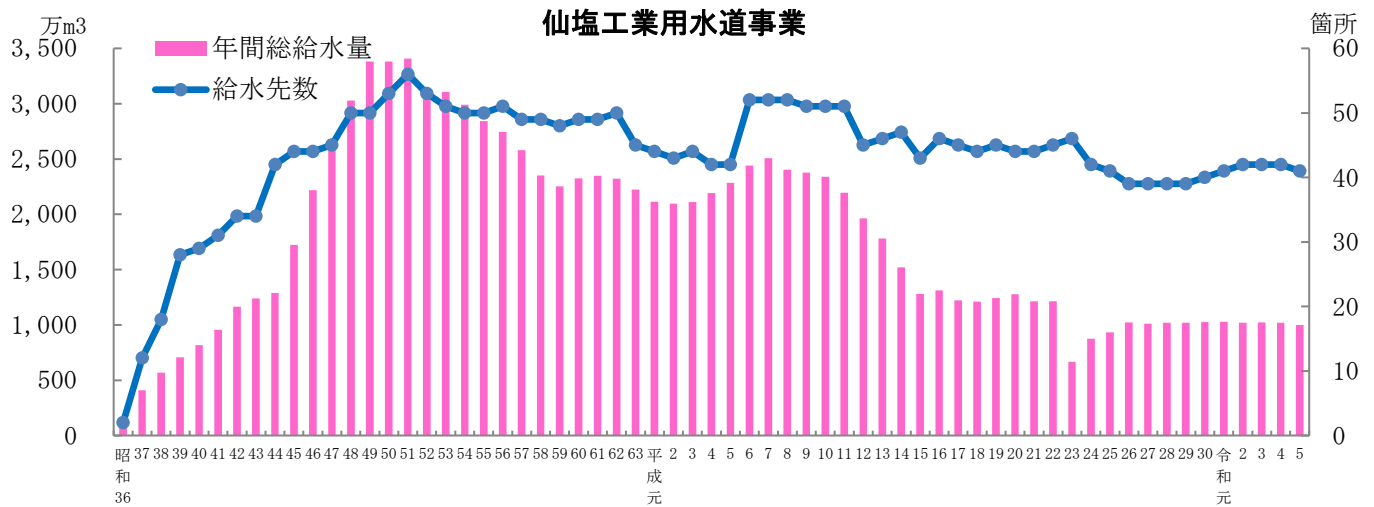
④ 経営の状況

● 給水状況

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
契約水量(m <sup>3</sup> /日)	27,840	27,640	27,890	27,890	27,990	28,030	27,930	27,830	27,680	27,400
契約事業所数(箇所)	39	39	39	39	40	41	42	42	42	41

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数(各年度3月末日現在)



※ S36～R4 は決算ベース、R5 は最終現計予算ベースで作成。

■ 契約水量及び事業所数(令和6年4月1日現在)

業種	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	事業所数
石油製品製造業	9,600	1
電気業	7,000	2
電気機械器具製造業	2,270	5
食料品製造業	2,120	7
非鉄金属製造業	1,560	1
化学工業	630	2
金属製品製造業	300	2
輸送用機械器具製造業	100	1
印刷・同関連業	250	2
窯業・土石製品製造業	200	2
その他	3,370	16
計	27,400	41

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S36年 11月1日	S45年 4月1日	S48年 4月1日	S50年 4月1日	S52年 8月1日	S56年 8月1日	S60年 4月1日
基本料金	3円50銭	4円50銭	6円	9円	13円	19円	28円
超過料金	7円	9円	12円	18円	26円	38円	56円
特定料金	3円50銭	4円50銭	-	-	-	-	-

区分	H元年 4月1日	H4年 4月1日	H7年 4月1日	H9年 4月1日	H14年 4月1日	H26年 4月1日	R元年 10月1日
基本料金	28円 28円84銭	33円 33円99銭	36円 37円08銭	36円 37円80銭	54円 56円70銭	54円 58円32銭	54円 59円40銭
超過料金	56円 57円68銭	66円 67円98銭	72円 74円16銭	72円 75円60銭	108円 113円40銭	108円 116円64銭	108円 118円80銭

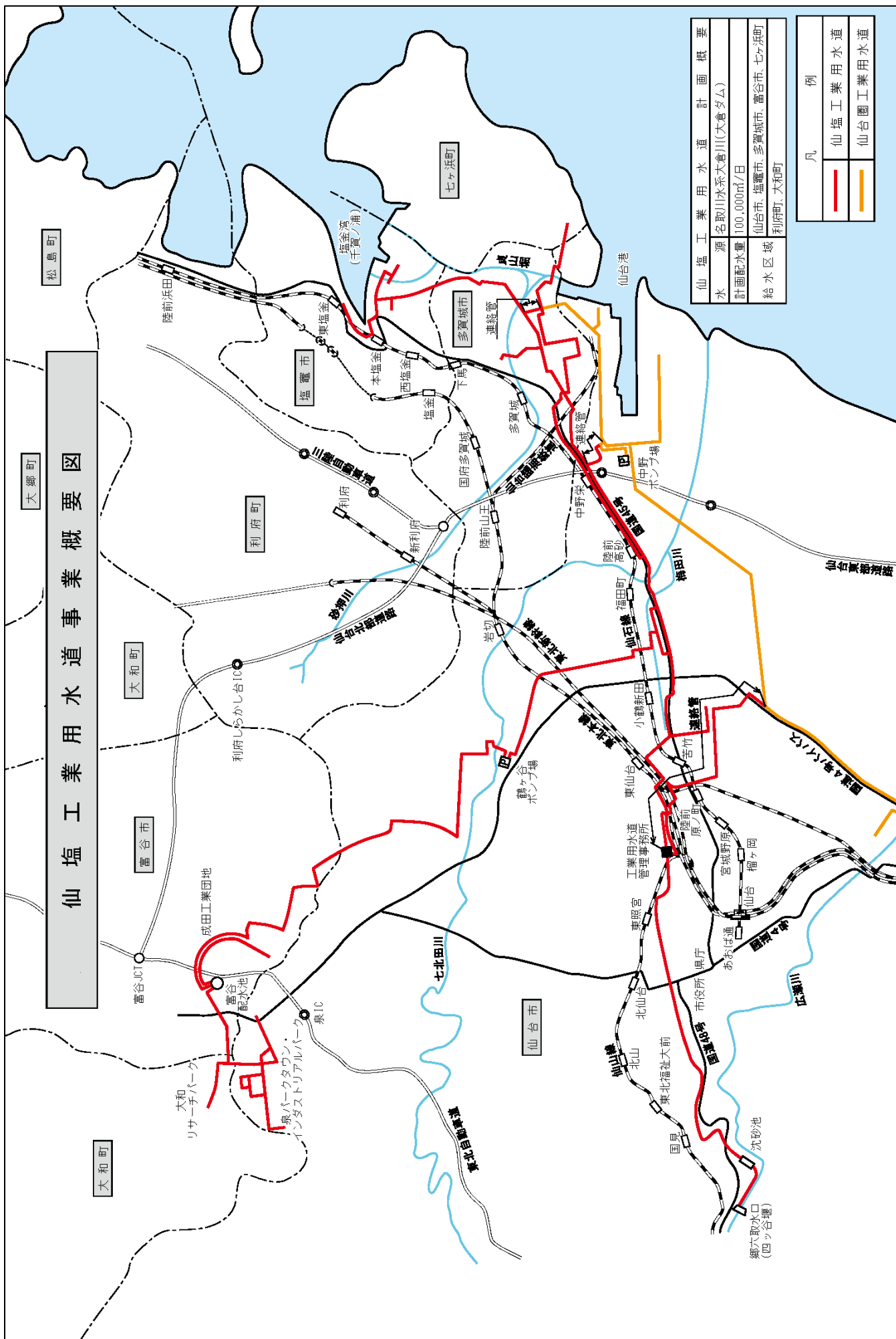
※H元年4月以降は、上段:消費税抜き、下段:消費税込み

● 収支状況

(単位:千円)

区分		年度					
		R2	R3	R4	R5	R6	
収 入	営業収益	554,594	558,178	336,835	347,862	340,722	
	営業外収益	157,007	158,317	149,700	147,142	148,839	
	特別利益	7,757	25,238	15	19	0	
	計	719,358	741,733	486,550	495,023	489,561	
支 出	営業費用	603,826	609,515	449,376	498,589	617,340	
	営業外費用	9,986	11,047	6,999	41,660	31,991	
	特別損失等	37,284	39,474	46,590	500	500	
	計	651,096	660,036	502,964	540,749	649,831	
当年度純利益		68,263	81,696	△16,415	△45,726	△160,270	
当年度未処分利益剰余金		261,073	224,961	122,769	10,711	△47,008	
供給単価(円/m <sup>3</sup> )		54.34	54.49	32.83	33.36	33.18	
給水原価(円/m <sup>3</sup> )		60.18	60.61	44.73	52.90	64.93	
資本費(円/m <sup>3</sup> )		35.36	34.93	35.48	34.49	34.32	

※R2～R4は決算額(消費税抜き)、R5は最終現計予算額(消費税込み)、R6は当初予算額(消費税込み)で作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。



(2) 仙台圏工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、新たに昭和 47 年度から昭和 51 年度までの 5 年間で建設したもので、昭和 51 年 10 月 1 日から給水を開始しています。

給水能力は一日最大 100,000 m<sup>3</sup>で、仙台港背後地に立地する石油精製、都市ガス、鉄鋼関連の企業等のほか、名取市、七ヶ浜町及び利府町の企業にも給水しています。

● 令和6年度の業務予定量(4月1日現在)

給水事業所数	15社
年間総給水量	14,715,350 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	40,316 m <sup>3</sup>

● 水 源

一級河川名取川水系碁石川(釜房ダム)

● 取 水

名取川頭首工(名取市高館熊野堂)釜房ダム放流水 一日最大 100,000 m<sup>3</sup>

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m <sup>3</sup>
水 質	原水供給

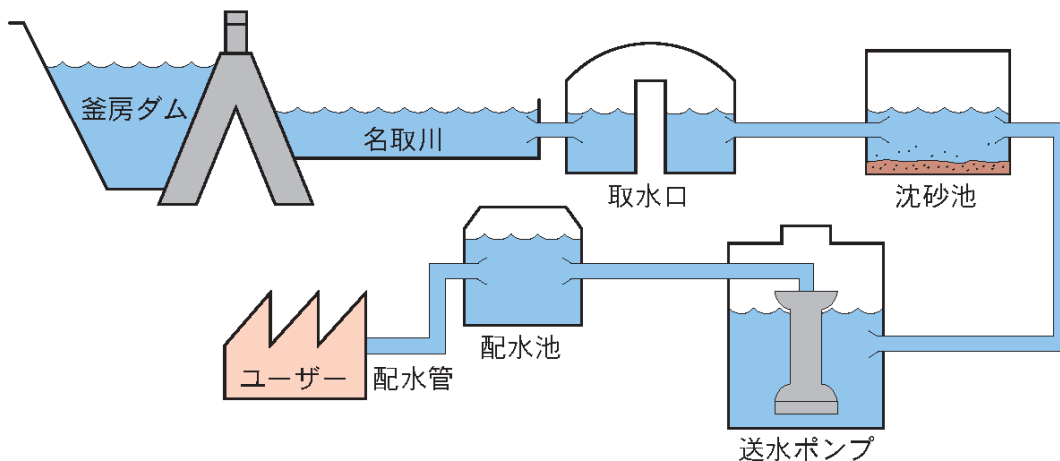
● 給水区域

仙台市、名取市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 47 年度(ダム負担金は 42 年度から負担)
完 成	昭和 51 年度
給水開始	昭和 51 年 10 月

■ 仙台圏工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位:千円)

区 分		全 体 事 業 費	摘 要
貯 水 工 事 費		566,260	S46 年度まで
取 水 ・ 送 水 工 事 費		1,093,773	S47～S51 年度
配 水 工 事 費		4,294,447	"
用 地 補 償 及 び 調 査 費		1,278,412	"
そ の 他		838,289	S42～S51 年度
計		8,071,181	
財 源 内 訳	国 庫 補 助 金	2,531,400	
	企 業 債	5,336,000	
	一 般 会 計 からの 出 資 金 等	200,403	
	そ の 他	3,378	
計		8,071,181	

● 釜房ダム建設費等負担割合(工期 昭和 39～45 年 事業費 8,720,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工 業 用 水	6.5 %	6.5 %
公 共	74.6 %	74.6 %
上 水 道 ( 仙 台 市 )	18.8 %	18.8 %
発 電	0.1 %	0.1 %
計	100.0 %	100.0 %

③ 施設の概要

項 目	概 要																																				
貯水施設	釜房ダム[国土交通省] 目 的 洪水調整、かんがい、発電 上 水 道[200,000 m <sup>3</sup> /日]、工業用水道[100,000 m <sup>3</sup> /日] 型 式 重力式コンクリート 湛水面積 3.9 km <sup>2</sup> 総貯水量 45,300,000 m <sup>3</sup>																																				
取水施設	取水口[幅 3.00m×長 3.50m×高 2.50m] スクリーン 沈砂池 612 m <sup>3</sup> 2池[走行式吸砂装置付]																																				
送水施設	送水ポンプ 立軸斜流ポンプ 355kW 3台(うち予備1台) 自家発電機(停電予備用) 送 水 管 φ1,000mm 総延長 175m																																				
配水施設	配水池 2池(1池あたり2,000 m <sup>3</sup> ) 配水管 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>φ 150mm ~ φ 1,000mm</td> <td style="text-align: right;">延長 29,417m</td> </tr> <tr> <td>配水池～中 田</td> <td style="text-align: right;">φ 1,100mm 4,712m</td> </tr> <tr> <td>中 田～名 取</td> <td style="text-align: right;">φ 350mm 1,826m</td> </tr> <tr> <td>中 田～仙台港</td> <td style="text-align: right;">φ 1,000mm 14,618m</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    名取川水管橋</td> <td style="text-align: right;">543m</td> </tr> <tr> <td>    笹川水管橋</td> <td style="text-align: right;">24m</td> </tr> <tr> <td>    広瀬川水管橋</td> <td style="text-align: right;">304m</td> </tr> <tr> <td>    七北田川水管橋</td> <td style="text-align: right;">156m</td> </tr> <tr> <td>仙台港</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    φ 1,000mm</td> <td style="text-align: right;">30m</td> </tr> <tr> <td>    φ 900mm</td> <td style="text-align: right;">728m</td> </tr> <tr> <td>    φ 800mm</td> <td style="text-align: right;">985m</td> </tr> <tr> <td>    φ 700mm</td> <td style="text-align: right;">4,149m</td> </tr> <tr> <td>    φ 600mm</td> <td style="text-align: right;">634m</td> </tr> <tr> <td>若 林</td> <td style="text-align: right;">φ 200mm～φ 350mm 796m</td> </tr> <tr> <td>南小泉</td> <td style="text-align: right;">φ 150mm 407m</td> </tr> <tr> <td>仙塩・仙台圏の連絡管</td> <td style="text-align: right;">φ 500mm 532m</td> </tr> </table>	φ 150mm ~ φ 1,000mm	延長 29,417m	配水池～中 田	φ 1,100mm 4,712m	中 田～名 取	φ 350mm 1,826m	中 田～仙台港	φ 1,000mm 14,618m	内		名取川水管橋	543m	笹川水管橋	24m	広瀬川水管橋	304m	七北田川水管橋	156m	仙台港		φ 1,000mm	30m	φ 900mm	728m	φ 800mm	985m	φ 700mm	4,149m	φ 600mm	634m	若 林	φ 200mm～φ 350mm 796m	南小泉	φ 150mm 407m	仙塩・仙台圏の連絡管	φ 500mm 532m
φ 150mm ~ φ 1,000mm	延長 29,417m																																				
配水池～中 田	φ 1,100mm 4,712m																																				
中 田～名 取	φ 350mm 1,826m																																				
中 田～仙台港	φ 1,000mm 14,618m																																				
内																																					
名取川水管橋	543m																																				
笹川水管橋	24m																																				
広瀬川水管橋	304m																																				
七北田川水管橋	156m																																				
仙台港																																					
φ 1,000mm	30m																																				
φ 900mm	728m																																				
φ 800mm	985m																																				
φ 700mm	4,149m																																				
φ 600mm	634m																																				
若 林	φ 200mm～φ 350mm 796m																																				
南小泉	φ 150mm 407m																																				
仙塩・仙台圏の連絡管	φ 500mm 532m																																				

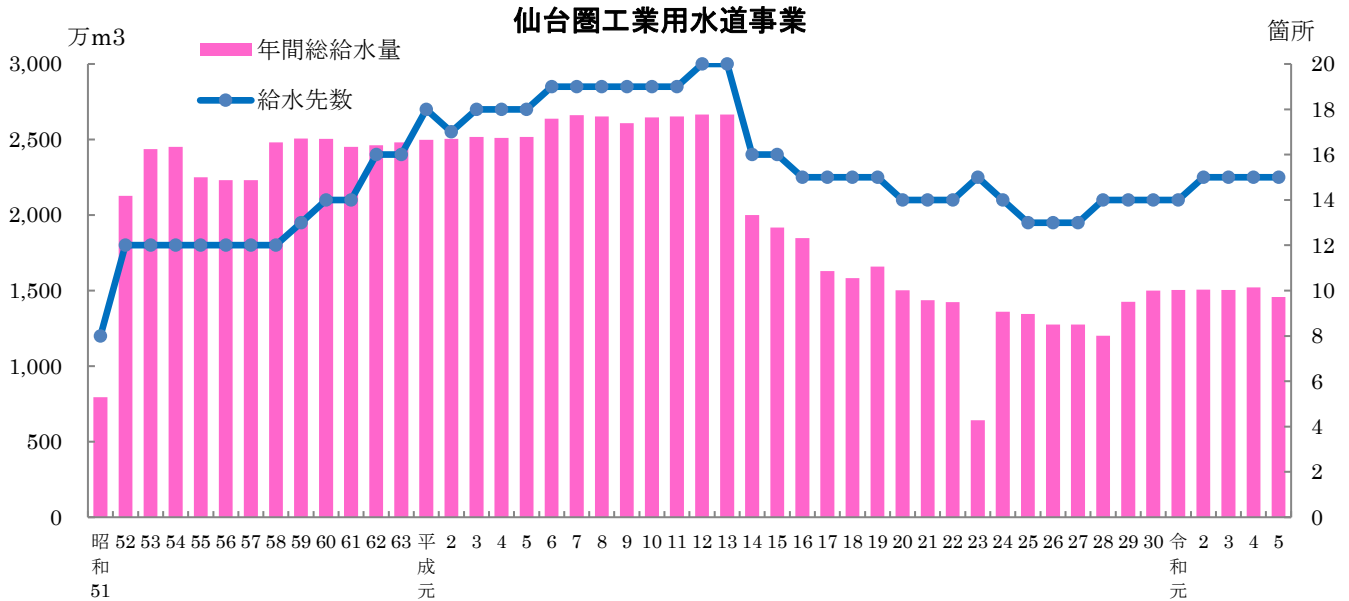
④ 経営の状況

● 給水状況

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
契約水量(m <sup>3</sup> /日)	34,860	34,860	33,310	40,990	40,990	40,990	41,950	41,050	42,050	39,850
契約事業所数(箇所)	13	13	14	14	14	14	15	15	15	15

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数(各年度3月末日現在)



※ S51～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベースで作成。

■ 契約水量及び事業所数(令和6年4月1日現在)

業種	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	事業所数
石油製品製造業	14,400	1
飲料・たばこ・飼料製造業	7,100	2
鉄鋼業	7,000	1
食料品製造業	1,300	2
ガス業	500	1
化学工業	290	2
電気業	8,360	2
ゴム製品製造業	300	1
プラスチック製品製造業	100	1
その他	500	2
計	39,850	15

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S51年 10月1日	S58年 4月1日	H元年 4月1日	H9年 4月1日	H26年 4月1日	H29年 4月1日	R元年 10月1日
基本料金	17円 —	23円 —	23円 23円69銭	23円 24円15銭	23円 24円84銭	30円 32円40銭	30円 33円
超過料金	34円 —	46円 —	46円 47円38銭	46円 48円30銭	46円 49円68銭	60円 64円80銭	60円 66円

※H元年4月以降は、上段:消費税抜き、下段:消費税込み

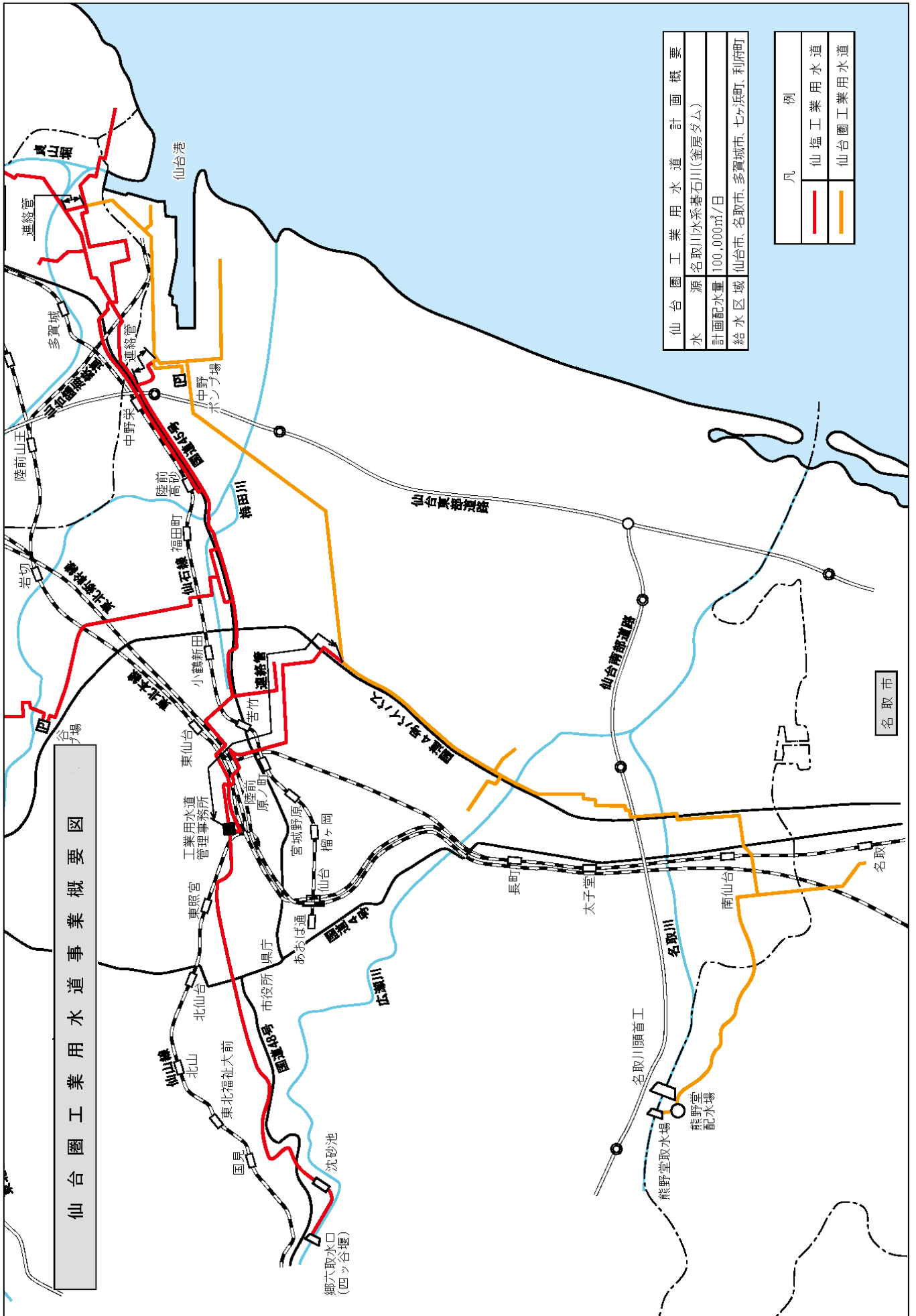
● 収支状況

(単位:千円)

区分		年度				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
収 入	営 業 収 益	548,321	463,583	334,567	376,366	351,628
	営 業 外 収 益	42,781	39,084	38,699	55,268	51,313
	特 別 利 益	9,026	0	6,405	5	0
	計	600,128	502,667	379,671	431,639	402,941
支 出	営 業 費 用	434,021	346,207	249,441	385,898	399,654
	営 業 外 費 用	2,963	1,314	3,945	43,700	32,799
	特 別 損 失 等	22,970	8,164	6,266	500	500
	計	459,954	355,685	259,652	430,098	432,953
当 年 度 純 利 益		140,173	146,982	120,019	1,541	△30,012
当年度未処分利益剰余金		303,306	272,146	201,029	48,232	△1,397
供 給 単 価 (円 / m <sup>3</sup> )		30.02	30.04	21.89	22.89	23.01
給 水 原 価 (円 / m <sup>3</sup> )		29.01	23.12	16.67	29.17	29.43
資 本 費 (円 / m <sup>3</sup> )		8.12	7.64	7.50	10.18	9.87

※R2～R4 は決算額(消費税抜き)、R5 は最終現計予算額(消費税込み)、R6 は当初予算額(消費税込み)で作成。R4 からみやぎ型管理運営方式導入。





### (3) 仙台北部工業用水道事業

#### ① 事業の概要

本事業は、黒川郡の大和町と大衡村にまたがる本県内陸最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地のほか、大崎市及び加美郡加美町における立地企業に対し一日最大 58,500 m<sup>3</sup>の工業用水を供給するものです。

昭和 50 年度に建設工事に着手し、大崎市三本木地区までの整備を昭和 54 年度までに完成、昭和 55 年 4 月から一部給水を開始しており、その後、先端技術産業の立地促進のため、大衡村衡東地区に浄水場（濁度 1 度以下に浄水）を建設、昭和 62 年 4 月から給水しています。

また、昭和 63 年度から一部分譲を開始した仙台北部中核工業団地内の配水管布設工事は平成 3 年度に終了し給水を開始しており、平成 4 年度から平成 14 年度にかけて、第二仙台北部中核工業団地に配水管を布設しています。

さらに、令和 3 年 5 月から麓山浄水場池内にて濁度低減処理施設の稼働を開始しており、高濁度時には施設内で濁度低減処理を行った水をユーザーへ配水しています。

#### ● 令和 6 年度の業務予定量（4 月 1 日現在）

給水事業所数	16 社
年間総給水量	7,256,200 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	19,880 m <sup>3</sup>

#### ● 水源

一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川(漆沢ダム)

#### ● 取水

門沢取水堰(加美町門沢)漆沢ダム放流水 一日最大 60,000 m<sup>3</sup>

#### ● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 58,500 m <sup>3</sup>
水質	原水供給 53,500 m <sup>3</sup> /日

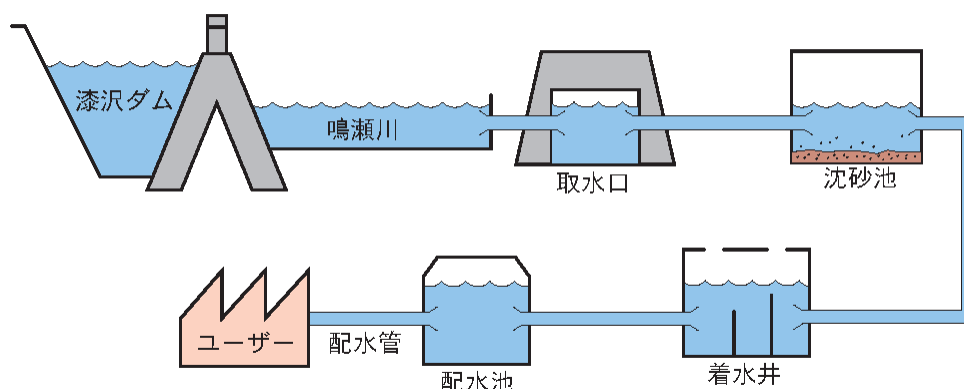
#### ● 給水区域

大崎市、大和町、大衡村、加美町

#### ● 工期及び給水開始

着工	昭和 50 年度(ダム負担金は昭和 48 年度から負担)
完成	平成 3 年度
給水開始	一部給水 昭和 55 年 4 月
	全部給水 平成 4 年 4 月

### ■ 仙台北部工業用水道のしくみ



② 事業費 (単位:千円)

区 分		全 体 事 業 費
取水・導水工事費		2,901,559
配水工事費		5,235,756
用地補償費		131,051
その他		5,936,239
計		14,204,605
財源内訳	国庫補助金	2,631,406
	企業債	10,638,000
	その他	935,199
	計	14,204,605

● 漆沢ダム建設費等負担割合

8ページ参照

③ 施設の概要

項 目	概 要	
貯水施設	漆沢ダム(大崎広域水道の水源内容と同じ)	
取水施設 〔大崎広域水道との共用〕	取水堰 長 40.0m×高 3.3m(固定部 長 30.0m・可動部 3.0m×2 門) 取水口 2 門 土砂吐ゲート、管理橋 管理室 電気計装設備一式	
送水施設 〔大崎広域水道との共用〕	導水トンネル等 2 坑 4,313m 沈砂池 2 池 導水管 φ 900mm～φ 1,350mm 4,345m 水管橋 2 橋 151m 管理室 電気計装設備一式	
浄水施設 〔麓山浄水場〕	混和池 1 池 フロック形成池 2 池 薬品沈殿池 2 池	
浄水施設 〔衡東浄水場〕	着水井 1 井 フロック形成池 2 池 沈殿池 2 池	ろ過池 2 池 管理棟(平屋) 1 棟 各種計装設備 1 式
配水施設	配水池 (麓山) 1,215 m <sup>3</sup> 2 池 配水管 φ 900mm 29,749m 内 (掃出水管橋 204m 高田水管橋 274.6m ) φ 700mm 518m 内 (高倉水管橋 300m) φ 900mm 1,499m φ 400mm 3,569m φ 250mm～φ 400mm 142m (衡東枝線) φ 150mm～φ 600mm 8,714m (仙台北部中核工業団地内) φ 150mm～φ 250mm 954m (枝線) φ 100mm～φ 200mm 3,877m (第二北部中核工業団地) 桔梗平配水池 920 m <sup>3</sup> 1 池	

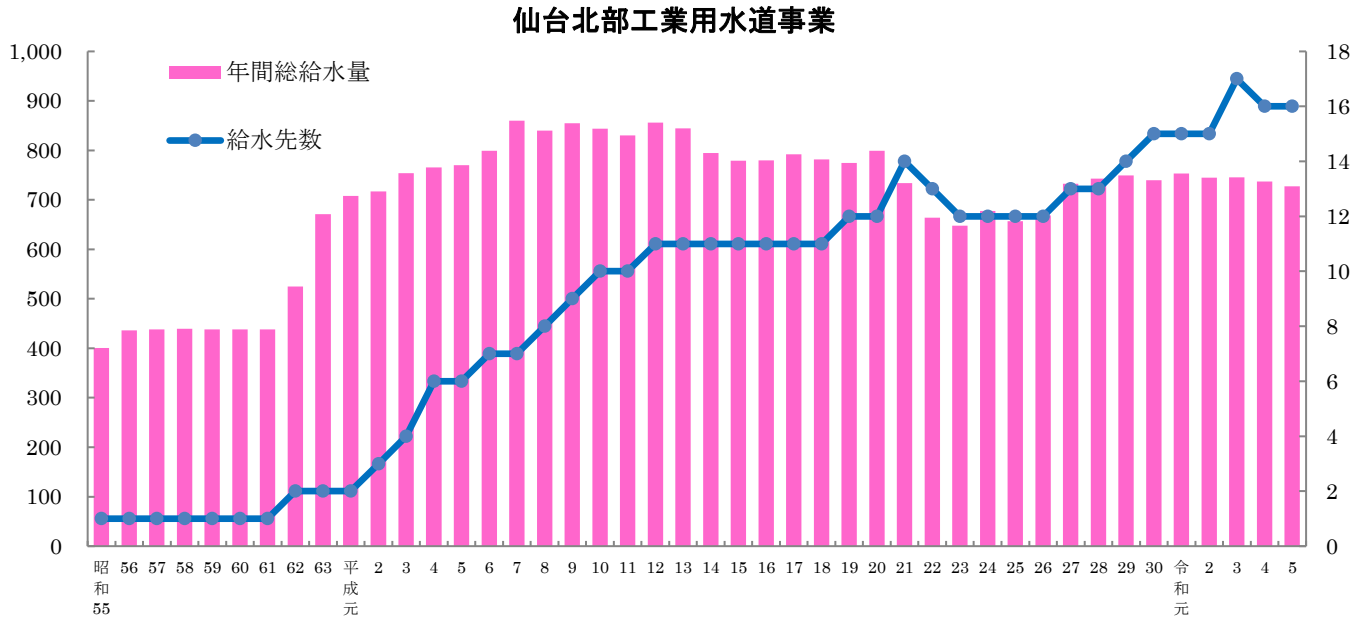
④ 経営の状況

● 給水状況

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
契約水量(m <sup>3</sup> /日)	19,660	20,260	20,360	20,360	20,560	20,530	20,280	20,480	19,880	19,880
契約事業所数(箇所)	14	14	14	14	15	15	15	17	16	16

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数(各年度3月末日現在)



※ S55～R4 は決算ベース、R5 は最終現計予算ベースで作成。

■ 契約水量及び事業所数(令和6年4月1日現在)

業種	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	事業所数
金属製品製造業	8,940	3
電気機械器具製造業	5,390	5
化学工業	2,950	2
食料品製造業	1,250	2
輸送用機械器具製造業	1,050	2
非鉄金属製造業	200	1
ゴム製品製造業	100	1
計	19,880	16

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S55年 4月1日	H元年 4月1日	H5年 4月1日	H8年 4月1日	H9年 4月1日	H13年 4月1日	H26年 4月1日
基本料金	36円	36円 37円8銭	43円 44円29銭	50円 51円50銭	50円 52円50銭	59円 61円95銭	59円 63円72銭
超過料金	72円	72円 74円16銭	86円 88円58銭	100円 103円	100円 105円	118円 123円90銭	118円 127円44銭

区分	R元年 10月1日
基本料金	59円 64円90銭
超過料金	118円 129円80銭

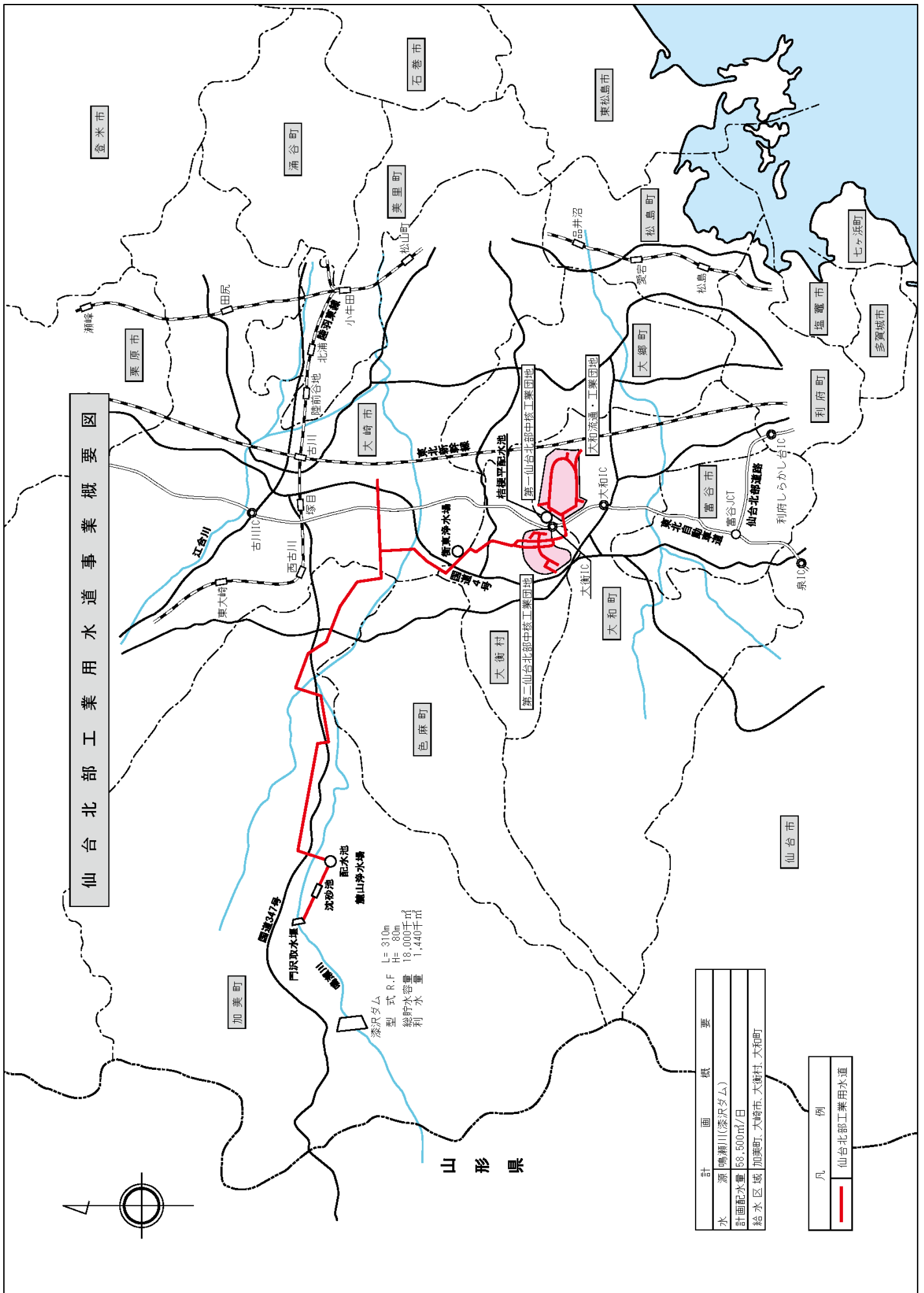
※H元年4月以降は、上段:消費税抜き、下段:消費税込み

● 収支状況

(単位:千円)

区分		年度				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
収 入	営 業 収 益	465,583	446,840	391,197	422,103	416,347
	営 業 外 収 益	78,886	92,529	99,140	105,648	98,619
	特 別 利 益	5,686	4,743	105,541	5	0
	計	550,155	544,113	595,878	527,756	514,966
支 出	営 業 費 用	443,104	454,810	431,912	539,629	689,186
	営 業 外 費 用	1,181	4,201	2,523	39,829	29,823
	特 別 損 失 等	13,584	12,027	108,095	2,716	300
	計	457,868	471,038	542,531	582,174	719,309
当 年 度 純 利 益		92,286	73,075	53,347	△54,418	△204,343
当年度未処分利益剰余金		△185,365	△112,291	△58,944	△58,944	△59,777
供 給 単 価 (円 / m <sup>3</sup> )		62.50	59.93	52.89	57.59	57.06
給 水 原 価 (円 / m <sup>3</sup> )		59.64	61.56	58.96	79.35	99.09
資 本 費 (円 / m <sup>3</sup> )		40.19	40.61	43.90	44.20	44.67

※R2～R4は決算額(消費税抜き)、R5は最終現計予算額(消費税込み)、R6は当初予算額(消費税込み)で作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。



### 3 地域整備事業

#### (1) 事業の概要

本事業は、仙台港国際ビジネスサポートセンター（以下「アクセル」という。）の建設計画の推進を契機として、平成9年度に新たに創設したもので、地域振興に資する施設の建設や活力ある県土づくりの核となる地域開発、所有資産の有効かつ効率的な運用等により、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を図り、もって県民の福祉の増進に寄与することを目的としています。

#### (2) 事業内容

##### ① 地域整備事業

アクセル等地域振興に資する施設の建設や、所有資産を有効かつ効率的に運用することにより、地域整備の促進を図り、もって地域住民の福祉の向上に寄与しようとするものです。

##### ② 新分野開発調査

新たな県民ニーズに的確に応え、住民福祉の向上に寄与するため、地方公営企業としての事業化の可能性について調査・研究を行うものです。

##### ③ 長期貸付事業

所有資産の有効活用を図るとともに、地域整備に資する事業の金利負担の軽減を図り、事業の円滑な実施と企業経営の安定に寄与するものです。

#### (3) 令和6年度の主な事業

##### ① アクセル施設管理運営事業

アクセルは、仙台港の国際貿易における港湾業務機能の支援と賑わいの創出による交流機能の集積を図ることを目的に、FAZ（輸入促進）事業を担う株式会社仙台港貿易促進センターとの共同施工により建築し、平成12年3月18日に開業しました。

東日本大震災での地震・津波により施設は甚大な被害を受け、震災以降1階及び2階部分のホール及びラボ等の営業を廃止し、平成26年7月、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）西館（経済商工観光部所管）として再開しました。

企業局が管理運営する3階から5階のオフィス部分については、16者（令和6年4月1日現在）が入居しており、引き続き港湾業務機能を支援する施設として入居率の向上に努めるとともに、適切な維持管理を行いながら更なる経営改善を図っていきます。

なお、アクセルは、仙台市の津波避難施設（平成28年度指定）として、本地域の防災拠点の機能も担っています。

#### 建物概要

	所在地	仙台市宮城野区港三丁目1番3号
	敷地面積	26,076 m <sup>2</sup> （約7,887坪）
	延床面積	10,750 m <sup>2</sup> （約3,252坪）
	構造	地上5階、鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
	建設年度	平成9年度～平成11年度
	駐車場台数	513台
	施設	1階 展示場、ホール、会議室 2階 研修室、会議室 【1・2階は、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ西館）として経済商工観光部所管部分】 3階～5階 賃貸オフィス、会議室 【企業局所管部分】

② 仙台港周辺地域賑わい創出推進事業

仙台港の開港以来常に当地域の発展に関わってきた企業局として、仙台港周辺地域の立地企業や関係機関と連携して積極的に賑わいの創出に向けた事業を推進しています。

平成29年4月12日に官民連携組織である仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアムが設立され、主催イベントの実施や、仙台港周辺地域のまちづくりに関する検討などの活動支援を行っています。

【みなとオアシス仙台港ウォーク】



ウォーキングを通じ、仙台港周辺地域の自然や、商業、工業地域などの景色をゆっくりと楽しみながら歩いてもらい、地域の魅力を発見してもらうことを目的に開催。

【みなとオアシス仙台港 PR 看板設置事業】



JR 中野栄駅自由通路内に設置し仙台港周辺地域をPR。仙台港方面への案内・誘導の役割も果たしている。



③ 仙台港周辺地域土地活用事業

仙台港周辺地域の土地を商業施設や流通業務施設等を用途とする事業者に対して貸付を行っています。

貸付用途別	貸付面積	備考
商業施設	122,169.02㎡	三井アウトレットパーク 仙台港及びカインズ仙台港店に貸付
流通業務施設	14,699.28㎡	流通事業者等7者に貸付
計	136,868.30㎡	



④ 他会計に対する長期貸付事業

令和6年3月31日現在

貸付先別会計	貸付額	償還済額	償還残額
<b>水道用水供給事業会計</b>	<b>3,007,000,000円</b>	<b>3,007,000,000円</b>	<b>0円</b>
大崎広域水道事業	907,000,000円	907,000,000円	0円
仙南・仙塩広域水道事業	2,100,000,000円	2,100,000,000円	0円
<b>工業用水供給事業会計</b>	<b>5,395,200,000円</b>	<b>5,395,200,000円</b>	<b>0円</b>
仙塩工業用水道事業	2,005,700,000円	2,005,700,000円	0円
仙台圏工業用水道事業	231,000,000円	231,000,000円	0円
仙台北部工業用水道事業	2,266,500,000円	2,266,500,000円	0円
仙南工業用水道事業	892,000,000円	892,000,000円	0円
<b>流域下水道事業会計</b>	<b>1,210,000,000円</b>	<b>1,210,000,000円</b>	<b>0円</b>
仙塩流域下水道事業	172,344,000円	172,344,000円	0円
阿武隈川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
鳴瀬川流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
吉田川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流東部流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
迫川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
計	9,612,200,000円	9,612,200,000円	0円

## 4 流域下水道事業

下水道は、良好な都市環境の形成と公衆衛生の向上に寄与するとともに、河川等の公共用水域の水質保全に重要な役割を有する住民生活に不可欠なライフラインです。

そのうち、流域下水道事業は、2以上の市町村の公共下水道からの汚水を受け、広域かつ効果的に汚水を処理するため、都道府県が主体となって管理運営するものです。

本県が実施する流域下水道事業は、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」、「北上川下流流域下水道」、「北上川下流東部流域下水道」、「迫川流域下水道」の7流域になります。

なお、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」の4流域下水道事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション)方式により民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を実施しています。

### (1) 仙塩流域下水道事業

#### ① 事業の概要

本事業は、松島湾、七北田川の公共用水域の水質保全を目的として、仙塩中央地区 3市2町(仙台市・塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町)から流入する汚水を処理するものです。

昭和45年の下水道法の改正による流域下水道の法制化後、昭和47年に東北地方初の流域下水道として事業着手し、昭和53年に一部供用を開始しました。現在の管渠は26.2kmが整備され、令和4年度末の処理区域人口は313.2千人、下水道処理人口普及率は99.3%に達しています。

#### ● 令和6年の業務予定量

関連市町村数	3市2町
年間処理汚水量	40,865,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	111,959 m <sup>3</sup>

#### ● 仙塩流域計画一覧表(令和5年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	13,983ha		
処理面積	8,956.20ha	8,418.0ha	7,399.4ha
処理人口	308,337人	321,076人	313,199人
処理能力	222,000 m <sup>3</sup> /日	222,000 m <sup>3</sup> /日	222,000 m <sup>3</sup> /日
系列数	4	4	4
管渠延長	26,246m	26,240m	26,240m
ポンプ場	1箇所	1箇所	1箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

#### ● 関連市町日平均汚水流入量(令和4年実績)

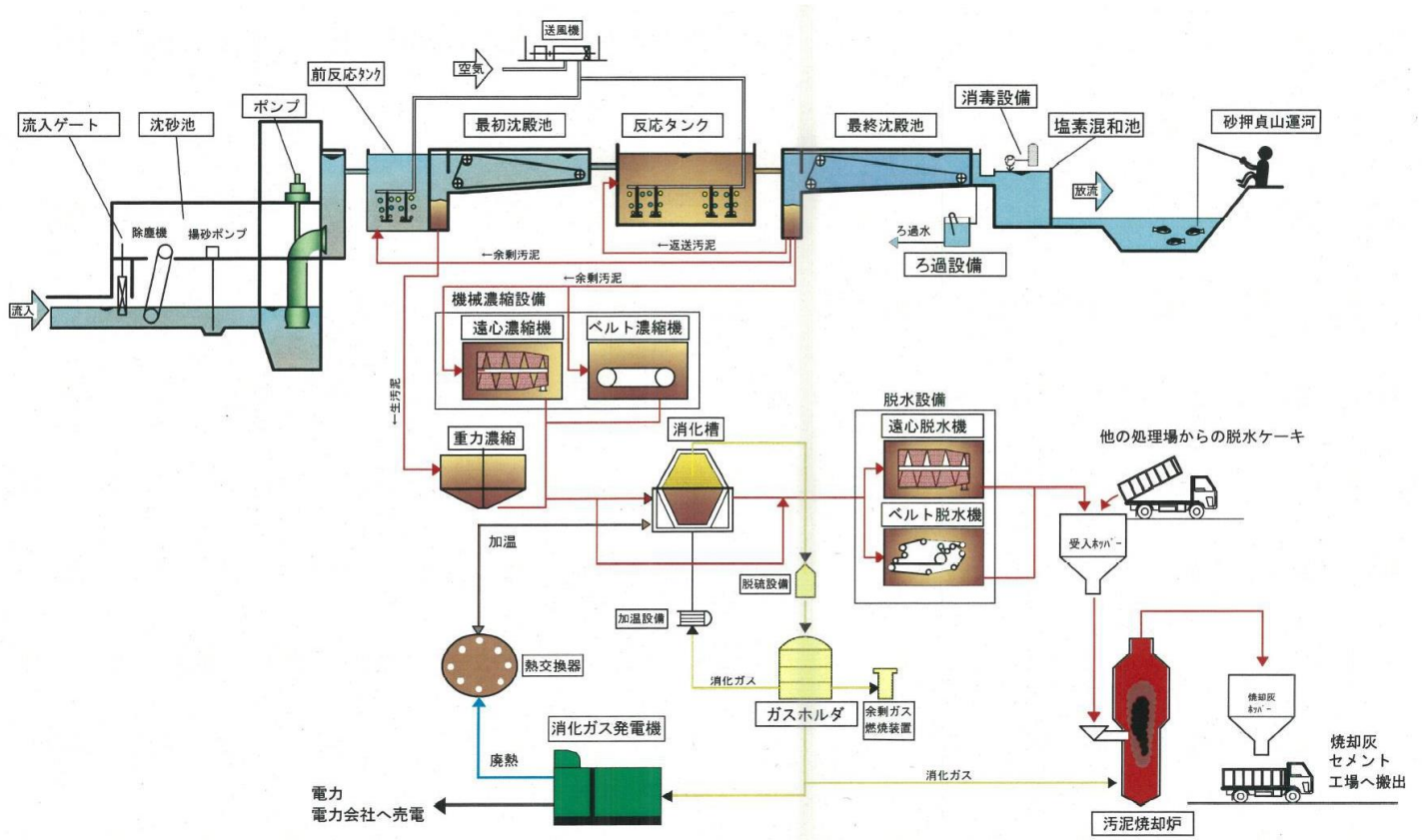
(単位: m<sup>3</sup>/日)

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	54,648	七ヶ浜町	5,076
塩竈市	21,162	利府町	9,737
多賀城市	19,710	合計	110,333

● 沿革及び認可関係(令和5年3月31日現在)

事業着手年度	昭和47年度
供用開始年月日	昭和53年6月1日
当初認可取得年月日	昭和48年3月28日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 仙塩浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位:千円)

区 分		令和4年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	46,257,483
	起債	11,714,500
	他会計繰入金	1,800,963
	市町分担金	13,066,346
	その他	0
	合計	72,839,292

③ 施設の概要

施設名	仙塩流域下水道事業	
	仙塩浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	旧塩素滅菌棟	1 棟
	電気センター	1 棟
	自家発電機装置	2 基
	沈砂池	264.1 m <sup>3</sup> (2 池)
	前反応タンク	2,268 m <sup>3</sup> ×2 系
		900 m <sup>3</sup> ×2 系
	最初沈殿池	13,963 m <sup>3</sup>
	反応タンク	64,127 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	29,183 m <sup>3</sup>
	消毒棟	1 棟
	塩素混和池	3,480 m <sup>3</sup>
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	汚泥濃縮機棟	1 棟
	汚泥消化タンク	5 槽
	ガスタンク	2 台
	汚泥脱水機	3 台
	汚泥焼却施設	1 棟
ポンプ場	塩釜中継ポンプ場	

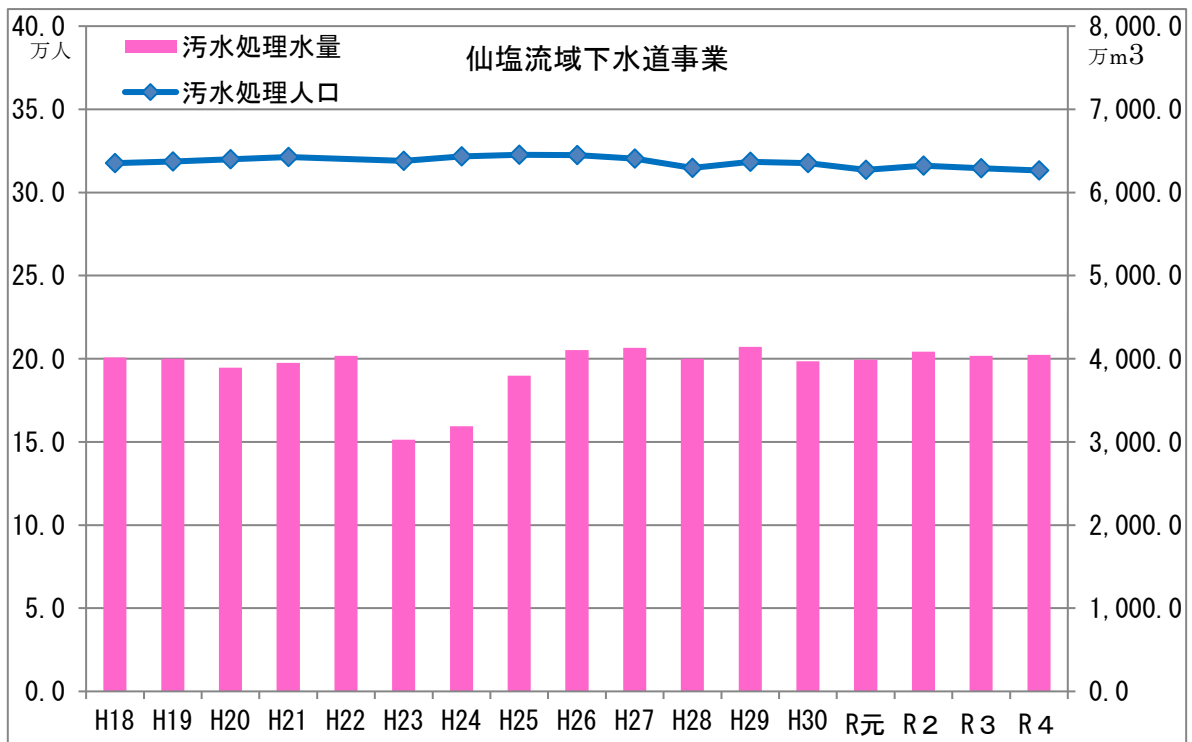
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 2	R 3	R4	R 5	R 6
A 施設能力 $m^3/日$	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
B 処理人口 人	316,165	314,600	313,199	集計中	—
C 処理水量 $m^3/年$	40,851,879	40,335,103	40,894,283	39,220,000	40,865,000
D 有収水量 $m^3/年$	40,851,879	40,335,103	40,894,283	39,220,000	40,865,000
E 1日平均処理量 $m^3$	111,617	110,507	112,039	107,452	111,959
F 1日最大処理量 $m^3$	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
G 管渠費 千円	41,407	24,436	46,348	29,209	32,263
H ポンプ場費 千円	78,365	95,910	0	0	0
I 処理場費 千円	1,517,420	1,707,400	787	370	1,936

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
負担金 千円	1,625,905	1,605,337	474,099	16,875	279,623
負担金単価 円/ $m^3$	39.8	39.8	39.8	39.8	44.8

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

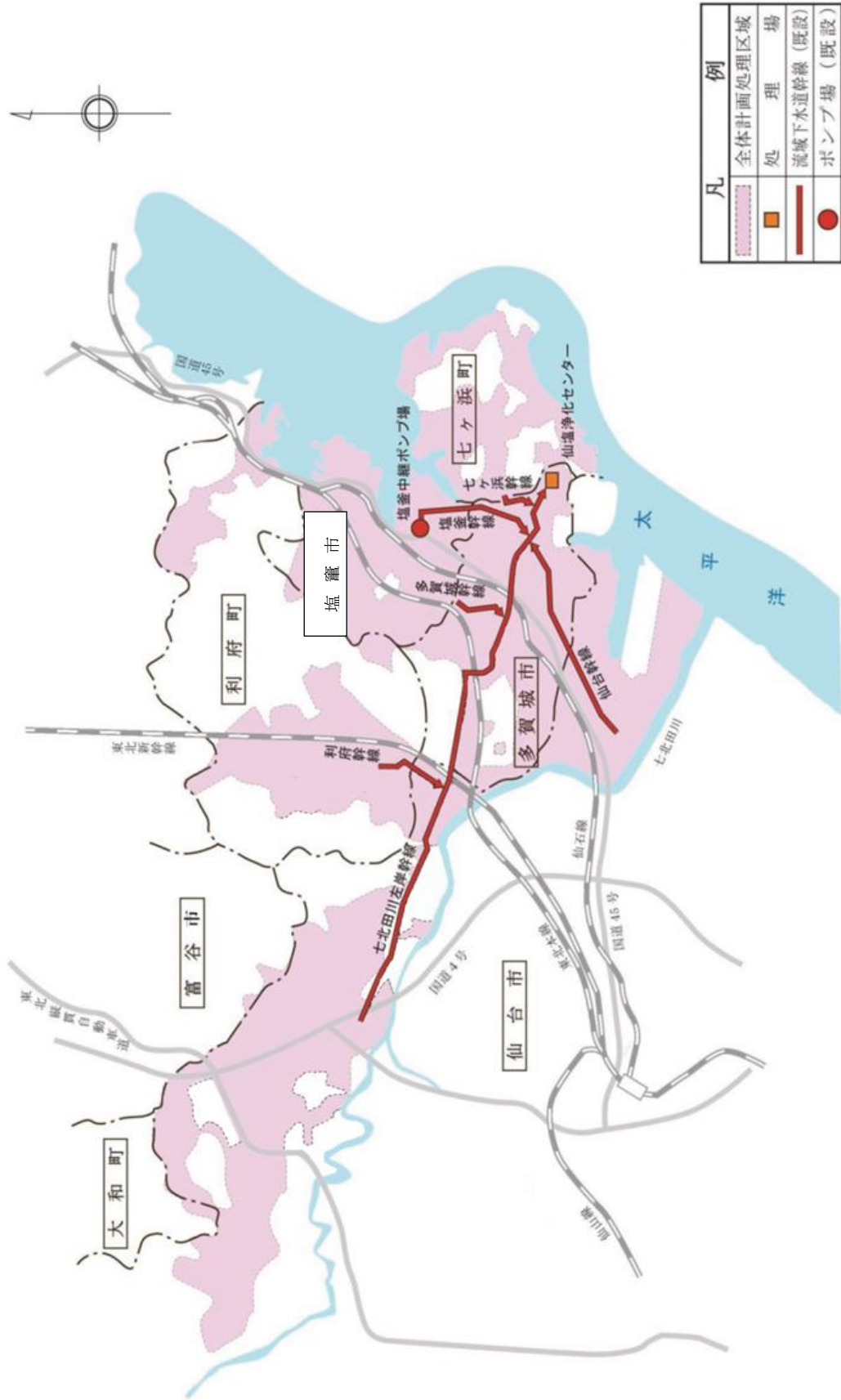
● 収支状況

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
収 入	営業収益(除受託) 千円	1,625,905	1,605,337	481,099	23,875	286,623
	うち料金収入 千円	1,625,905	1,605,337	474,099	16,875	279,623
	営業外収益 千円	2,206,859	2,237,999	2,006,558	2,021,270	1,785,311
	特別収益 千円	125,938	29,536	276,171	7,874	75,984
	計 千円	3,958,701	3,872,872	2,763,828	2,053,019	2,147,918
支 出	営業費用 千円	3,716,044	3,806,051	1,988,065	1,862,542	1,752,782
	営業外費用 千円	60,367	34,284	45,698	87,578	106,362
	特別損失 千円	215,836	74,768	429,556	51,344	101,084
	総費用(除受託) 千円	3,992,247	3,915,102	2,463,318	2,007,464	1,966,228
	計 千円	3,992,247	3,915,102	2,463,318	2,007,464	1,966,228
当年度純利益 千円		△33,546	△42,231	300,510	45,555	181,690

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

仙塩流域下水道一般図





⑤ 再生可能エネルギーの導入

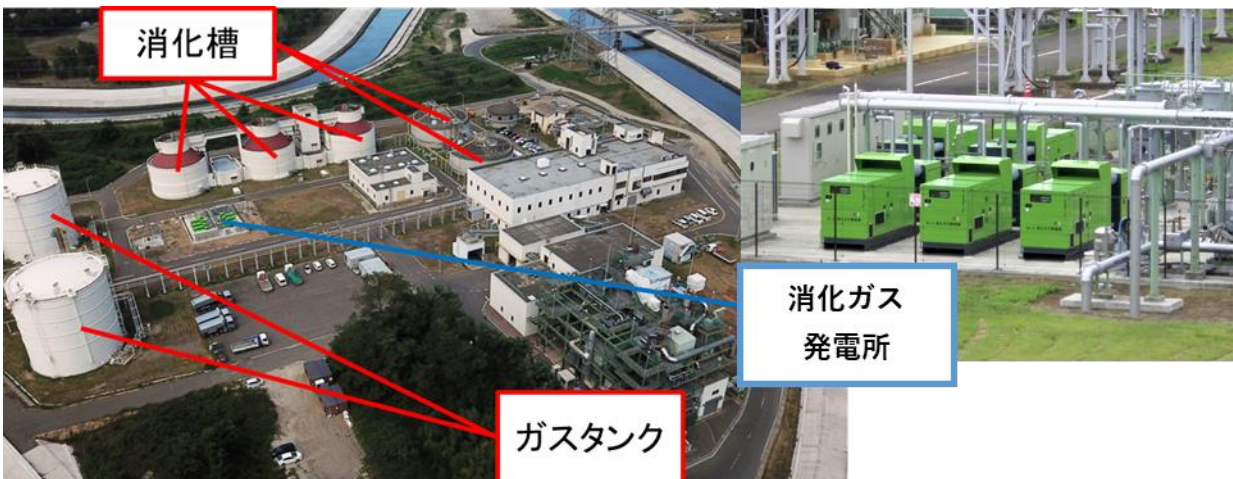
● 仙塩浄化センター消化ガス発電所

仙塩浄化センターの下水汚泥処理工程から発生する消化ガス(メタンガスと二酸化炭素を主成分とする可燃性ガス)のうち、約70%は焼却炉や消化槽加温用ボイラーの燃料として活用していましたが、残る30%については未利用のまま焼却処分していました。

この未利用資源を有効活用するため余剰の消化ガスを発電事業者へ売却し、事業者が発電した電気は固定価格買取制度(FIT)を活用して売電しています。

また、発電に伴い発生する熱を温水として回収し、汚泥処理に活用しています。

- ・事業主体 (株)大原鉄工所(民設民営 FIT)
- ・事業場所 仙塩浄化センター内(多賀城市大代)
- ・発電出力 350 kW(70 kW×5台)
- ・発電電力量 約200万 kWh/年(一般家庭約440世帯分に相当)
- ・年間土地賃借料 574,120円
- ・消化ガス売却収入 約4億円(20年間)
- ・工事着工 平成29年6月1日
- ・稼働開始 平成30年4月1日
- ・事業期間 発電開始から20年間



(2) 阿武隈川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、住宅団地開発による人口の増加や工場立地等に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、5市6町(仙台市・白石市・名取市・角田市・岩沼市・蔵王町・大河原町・村田町・柴田町・丸森町・亶理町)から流入する汚水を処理するものです。

昭和49年度に流域下水道として事業着手し、昭和60年1月に一部供用を開始しました。現在の管渠は90.7kmが整備され、令和4年度末の処理区域人口は307.0千人、下水道処理人口普及率は83.6%に達しています。

● 令和6年の業務予定量

関連市町村数	5市6町
年間処理汚水量	31,898,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	87,392 m <sup>3</sup>

● 阿武隈川下流流域計画一覧表(令和5年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	126,169ha		
処理面積	11,213.5ha	10,585.0ha	8,593.5ha
処理人口	292,613人	300,738人	306,988人
処理能力	125,000 m <sup>3</sup> /日	125,000 m <sup>3</sup> /日	125,000 m <sup>3</sup> /日
系列数	5	5	4.5
管渠延長	102,600m	90,710m	90,710m
ポンプ場	7箇所	6箇所	6箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

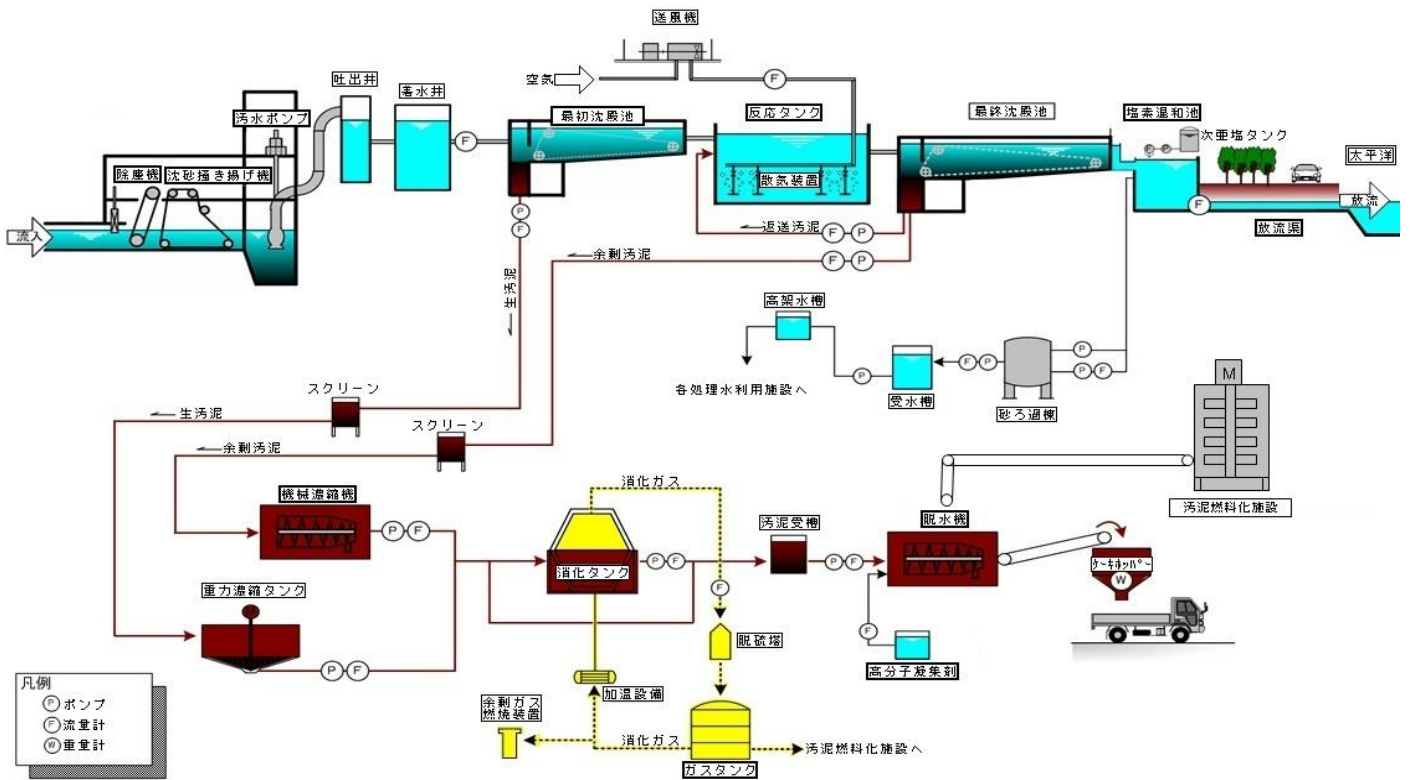
● 関連市町日平均汚水流入量(令和4年実績) (単位:m<sup>3</sup>/日)

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	16,637	大河原町	5,313
白石市	7,301	村田町	1,717
名取市	22,343	柴田町	9,687
角田市	4,041	丸森町	1,067
岩沼市	12,738	亶理町	6,578
蔵王町	1,449	合計	88,871

● 沿革及び認可関係(令和5年3月31日現在)

事業着手年度	昭和49年度
供用開始年月日	昭和60年1月1日
当初認可取得年月日	昭和50年3月31日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 県南浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位:千円)

区 分		令和4年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	60,542,542
	起債	16,805,602
	他会計繰入金	3,269,005
	市町分担金	20,016,532
	その他	0
	合計	100,633,681

③ 施設の概要

施設名	阿武隈川下流流域下水道事業	
	県南浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
	第2 水処理電気室	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	2 池
	最初沈殿池	11,549 m <sup>3</sup>
	反応タンク	44,158 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	21,179 m <sup>3</sup>
	塩素混和池	1,362 m <sup>3</sup>
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	機械濃縮棟	1 棟
	汚泥消化タンク	3 槽
	消化汚泥加温棟	1 棟
	脱水機棟	2 棟
	汚泥燃料化施設	1 棟
ポンプ場	亘理ポンプ場	
	角田ポンプ場	
	名取ポンプ場	
	大河原ポンプ場	
	仙台ポンプ場	
	丸森ポンプ場	

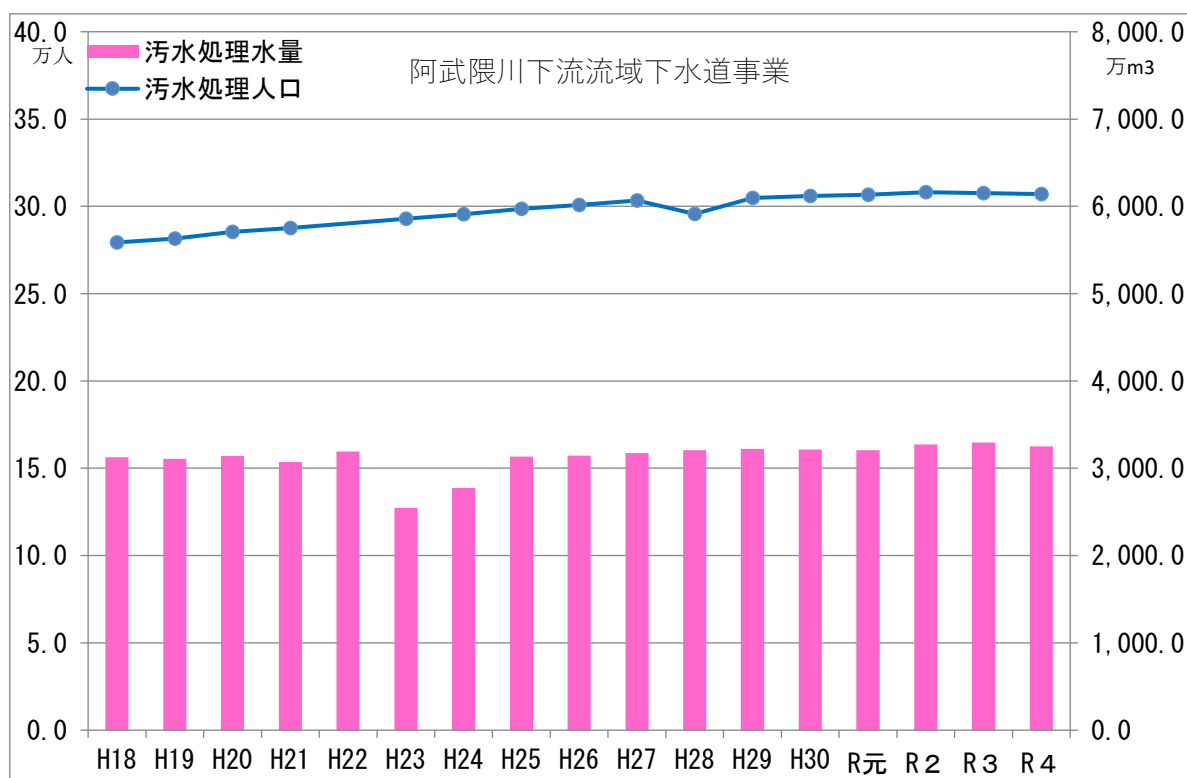
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
B 処理人口 人	308,083	307,486	306,988	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	32,717,309	32,951,426	32,937,114	32,011,000	31,898,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	32,717,309	32,951,426	32,937,114	32,011,000	31,898,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	89,392	90,278	90,239	87,701	87,392
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
G 管渠費 千円	60,567	24,959	76,157	47,920	74,954
H ポンプ場費 千円	221,606	179,024	0	0	0
I 処理場費 千円	1,277,252	1,401,273	478	291	1,575

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
負担金 千円	1,586,789	1,598,144	415,133	32,655	335,305
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	48.5	48.5	48.5	48.5	57.3

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

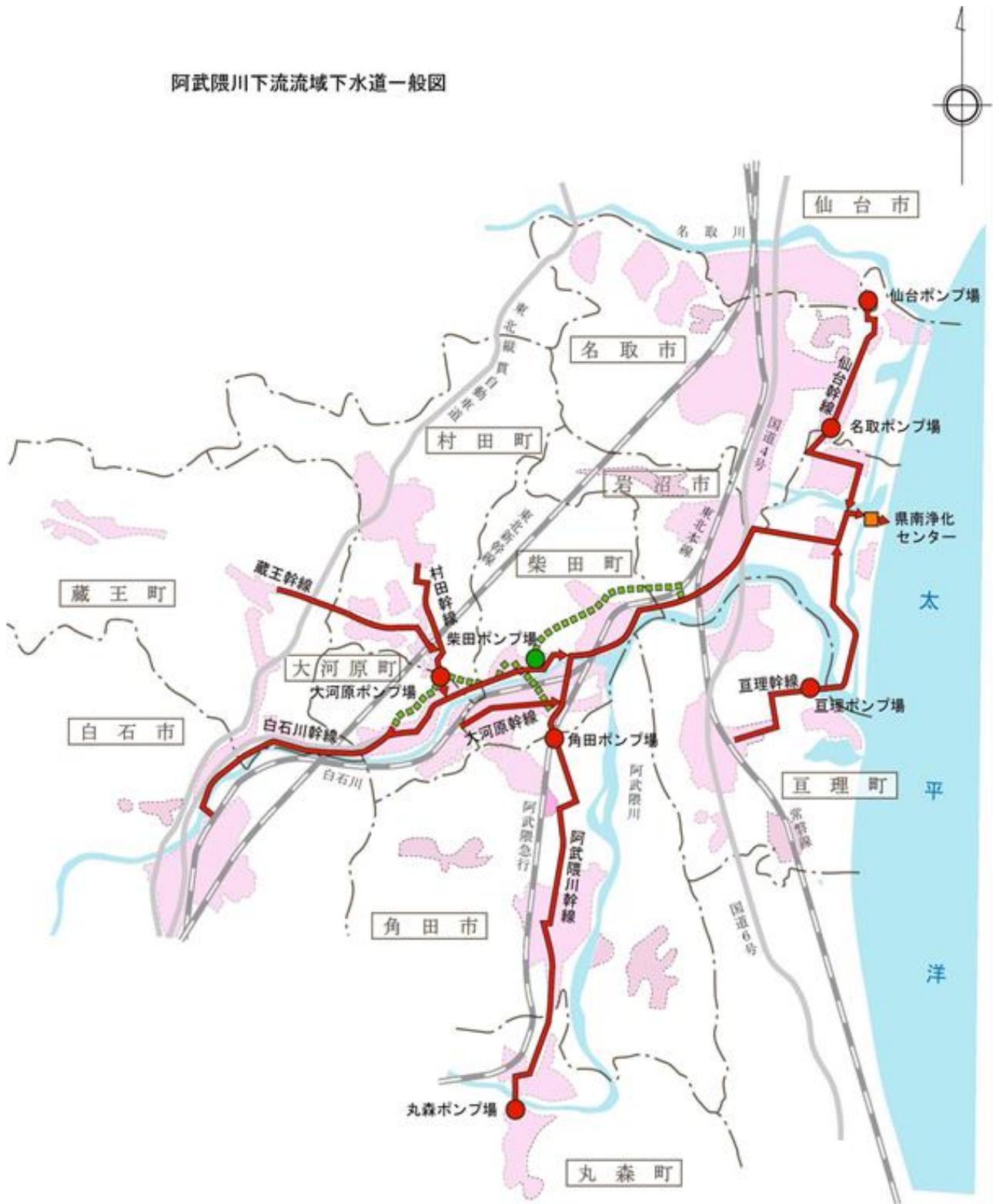
● 収支状況

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
収入	営業収益(除受託)	千円	1,586,789	1,598,144	423,133	40,655	343,505
	うち料金収入	千円	1,586,789	1,598,144	415,133	32,655	335,305
	営業外収益	千円	3,085,764	3,060,522	2,807,426	2,837,062	2,703,855
	特別収益	千円	136,477	36,344	93,983	59,042	90,665
	計	千円	4,809,031	4,695,011	3,324,542	2,936,759	3,137,825
支出	営業費用	千円	4,492,770	4,469,562	2,866,266	2,749,241	2,823,082
	営業外費用	千円	66,590	48,690	60,391	101,172	96,921
	特別損失	千円	226,371	101,707	133,084	146,235	120,865
	総費用(除受託)	千円	4,785,731	4,619,959	3,059,741	3,002,648	3,046,868
	計	千円	4,785,731	4,619,959	3,059,741	3,002,648	3,046,868
当年度純利益		千円	23,300	75,052	264,801	△65,889	90,957

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

阿武隈川下流域下水道一般図



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #f8d7da; border: 1px solid #c6c8ca;"></span>	全体計画処理区域
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #ffc107;"></span>	処 理 場
<span style="display:inline-block; width:20px; border-bottom: 2px solid #dc3545;"></span>	流域下水道幹線 (既設)
<span style="display:inline-block; width:20px; border-bottom: 2px dashed #6c757d;"></span>	流域下水道幹線 (計画)
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #dc3545; border-radius: 50%;"></span>	ポンプ場 (既設)
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color: #28a745; border-radius: 50%;"></span>	ポンプ場 (計画)

(3) 鳴瀬川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、1 市 1 町 (大崎市・美里町) から流入する汚水を処理するものです。

昭和 56 年度に流域下水道として事業着手し、平成 4 年 4 月に一部供用を開始しました。現在の管渠は 21.1km が整備され、令和 4 年度末の処理区域人口は 26.8 千人、下水道処理人口普及率は 56.6% に達しています。

● 令和 6 年の業務予定量

関連市町村数	1 市 1 町
年間処理汚水量	2,564,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	7,025 m <sup>3</sup>

● 鳴瀬川流域計画一覧表 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	16,432ha		
処理面積	1,569.93ha	1,398.79ha	1,062.3ha
処理人口	29,650 人	29,740 人	26,798 人
処理能力	11,100 m <sup>3</sup> /日	11,100 m <sup>3</sup> /日	8,800 m <sup>3</sup> /日
系列数	6	6	5
管渠延長	21,130m	21,130m	21,130m
ポンプ場	5 箇所	5 箇所	5 箇所
計画目標年度	令和 17 年度	令和 7 年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量 (令和 4 年実績) (単位: m<sup>3</sup>/日)

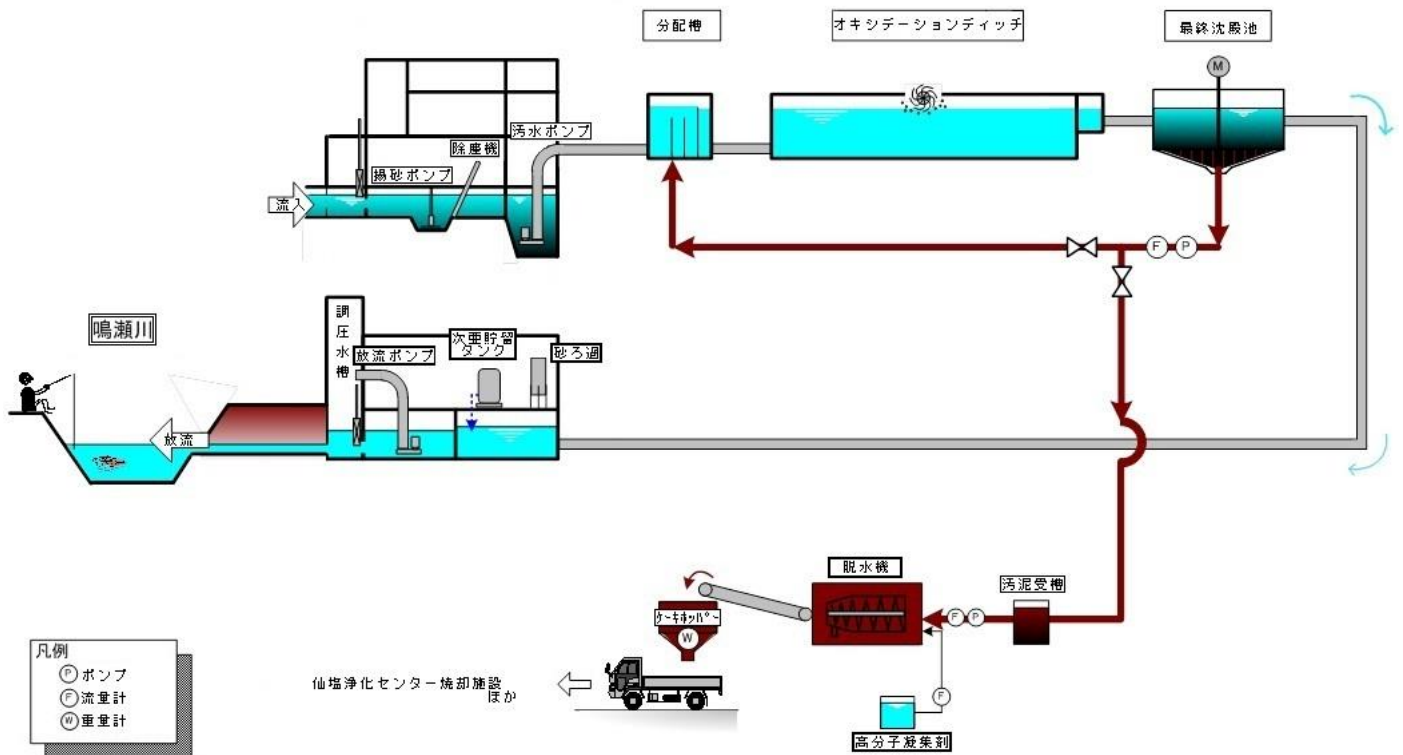
市町村名	汚水量
大崎市	4,659
美里町	2,212
合計	6,871

● 沿革及び認可関係 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

事業着手年度	昭和 56 年度
供用開始年月日	平成 4 年 4 月 1 日
当初認可取得年月日	昭和 57 年 3 月 2 日
最終変更認可年月日	平成 30 年 1 月 26 日
認可完了予定年月日	令和 8 年 3 月 31 日



■ 鹿島台浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和4年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	10,684,847
	起 債	2,691,300
	他会計繰入金	573,970
	市町分担金	5,709,944
	そ の 他	0
	合 計	19,660,062

③ 施設の概要

施設名	鳴瀬川流域下水道事業	
	鹿島台浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	電気室	1 棟
	自家発電装置	1 基
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッチ	8,788 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	
	塩素注入施設	8,800 m <sup>3</sup>
		1 基
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	松山第 1 中継ポンプ場	
	松山第 2 中継ポンプ場	
	鹿島台中継ポンプ場	
	小牛田ポンプ場	
	三本木ポンプ場	

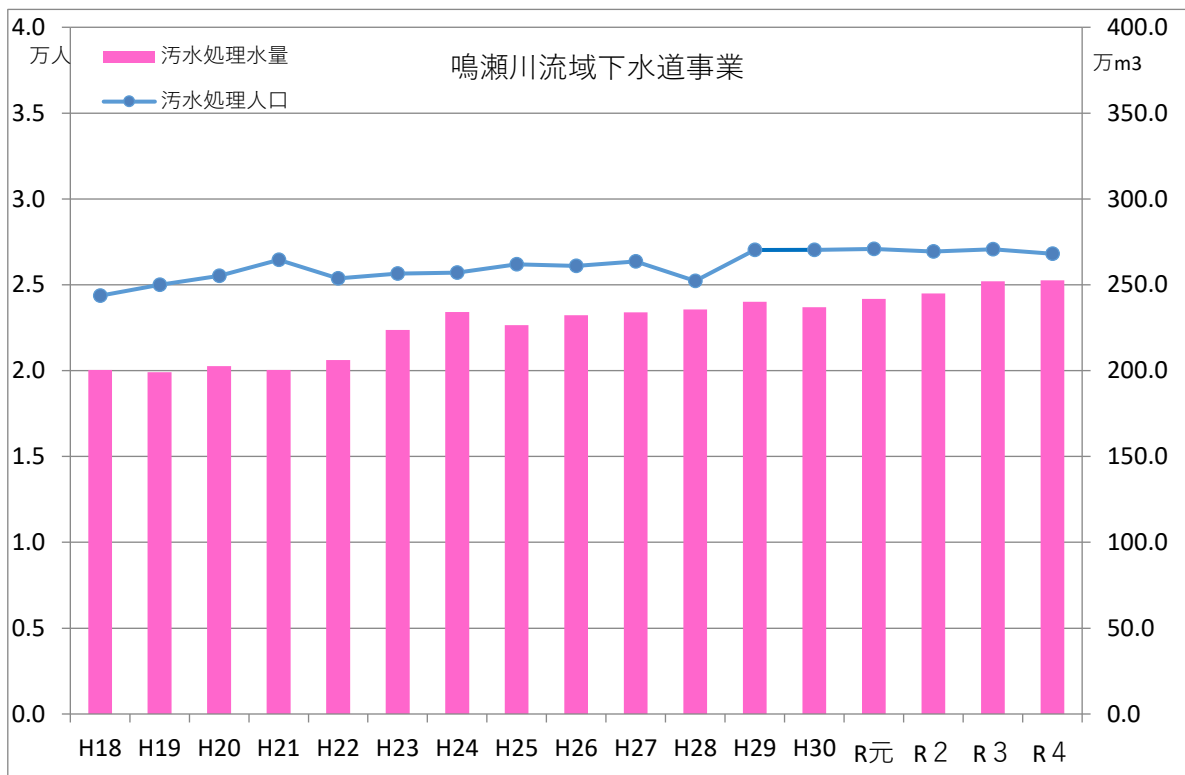
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
B 処理人口 人	26,947	27,063	26,798	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	2,449,683	2,520,101	2,552,890	2,552,000	2,564,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	2,449,683	2,520,101	2,552,890	2,552,000	2,564,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	6,693	6,904	6,994	6,992	7,025
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
G 管渠費 千円	15,070	9,718	37,440	20,792	18,146
H ポンプ場費 千円	40,122	41,579	0	0	0
I 処理場費 千円	159,031	214,683	227	293	1,550

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



● 料金等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
負担金 千円	198,669	204,380	63,903	3,116	39,917
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	81.1	81.1	81.1	81.1	92.3

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

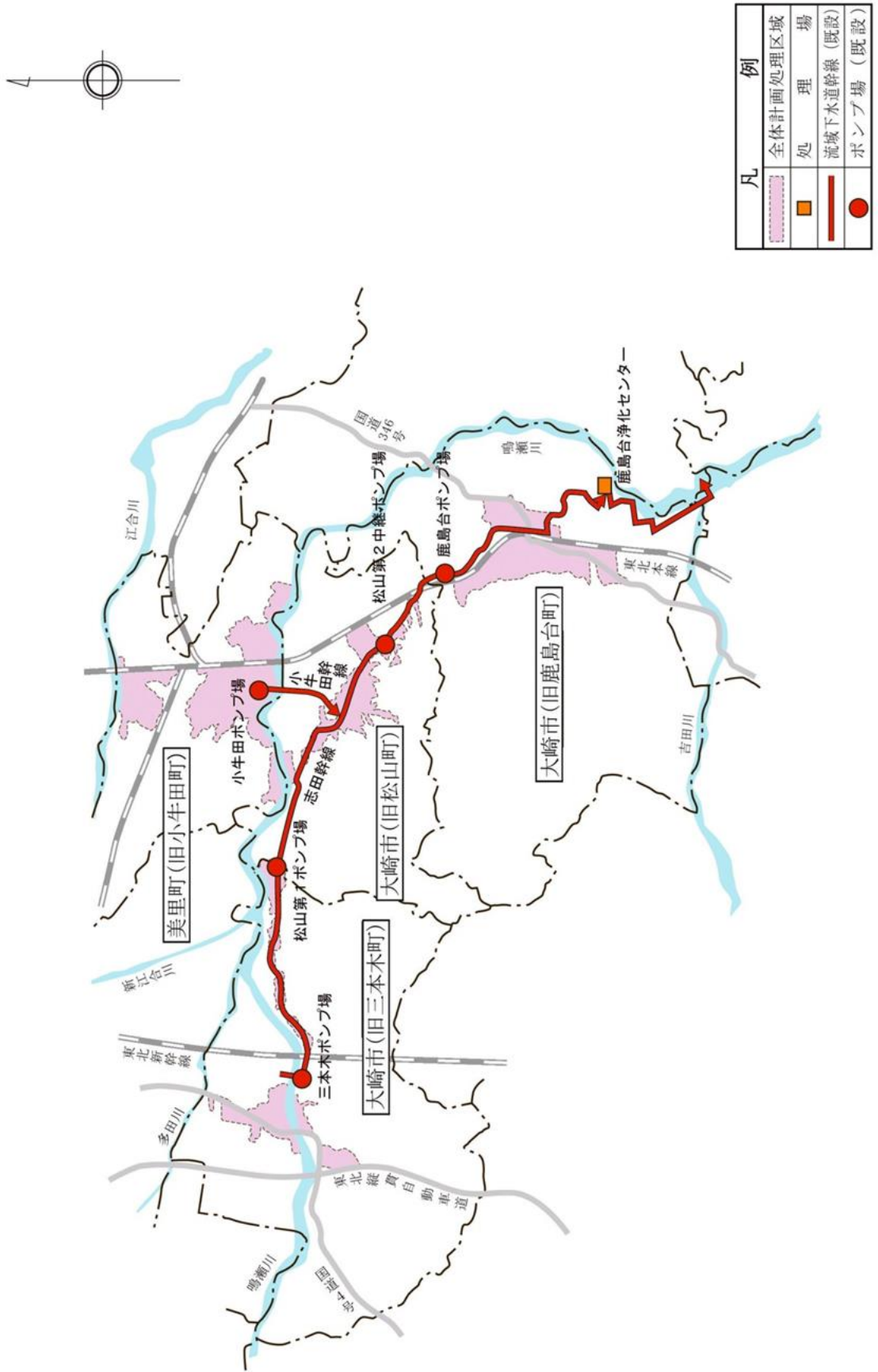
● 収支状況

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
収入	営業収益(除受託) 千円	198,669	204,380	66,903	6,116	42,917
	うち料金収入 千円	198,669	204,380	63,903	3,116	39,917
	営業外収益 千円	436,503	445,854	411,477	388,509	366,463
	特別収益 千円	29,663	16,206	48,072	4,505	36,561
	計 千円	664,835	666,440	526,452	399,130	445,941
支出	営業費用 千円	586,890	637,590	394,134	337,265	329,315
	営業外費用 千円	13,992	10,693	9,679	33,958	31,288
	特別損失 千円	73,488	32,649	61,306	2,752	48,561
	総費用(除受託) 千円	674,370	680,931	465,120	379,975	415,164
	計 千円	674,370	680,931	465,120	379,975	415,164
当年度純利益 千円		△9,535	△14,491	61,332	19,155	30,777

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

鳴瀬川流域下水道一般図



(4) 吉田川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台北部中核都市建設が進む富谷市、黒川郡を対象に、人口増加や工場立地に伴う水質悪化防止等を目的とし、1市2町1村(富谷市・大和町・大郷町・大衡村)から流入する汚水を処理するものです。

昭和63年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は28.1kmが整備され、令和4年度末の処理区域人口は79.7千人、下水道処理人口普及率は89.6%に達しています。

● 令和6年の業務予定量

関連市町村数	1市2町1村
年間処理汚水量	11,245,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	30,808 m <sup>3</sup>

● 吉田川流域計画一覧表(令和5年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	41,693ha		
処理面積	4,365.4ha	3,581.0ha	3,045.1ha
処理人口	85,635人	85,420人	79,728人
処理能力	55,380 m <sup>3</sup> /日	54,800 m <sup>3</sup> /日	41,825 m <sup>3</sup> /日
系列数	5	5	3.5
管渠延長	28,340m	28,340m	28,340m
ポンプ場	4箇所	4箇所	4箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

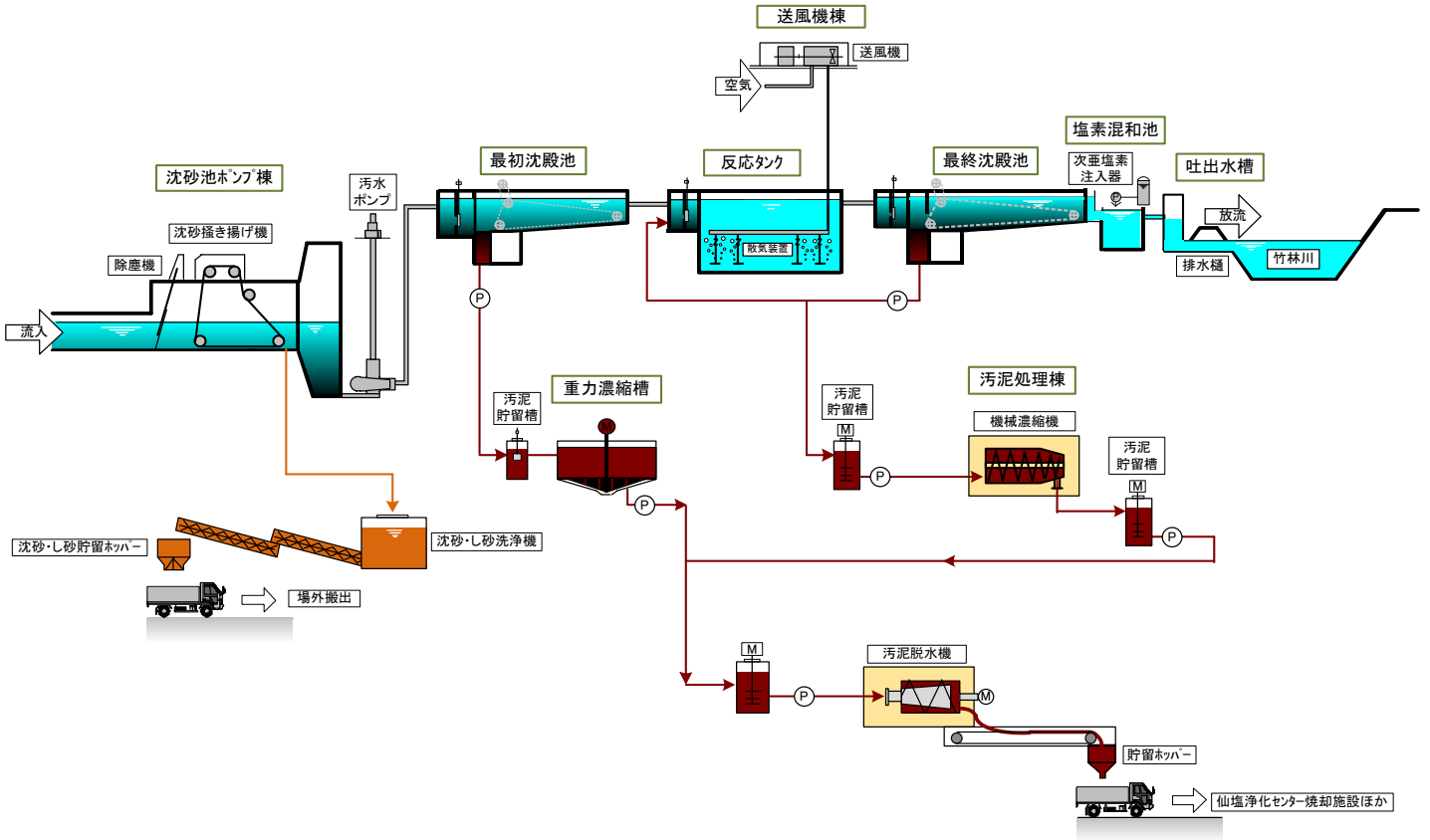
● 関連市町日平均汚水流入量(令和4年実績) (単位: m<sup>3</sup>/日)

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
富谷市	15,347	大衡村	2,734
大和町	11,860	合計	31,302
大郷町	1,361		

● 沿革及び認可関係(令和5年3月31日現在)

事業着手年度	昭和63年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	平成1年2月21日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 大和浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和4年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	19,299,940
	起債	3,733,412
	他会計繰入金	2,541,397
	市町分担金	5,924,694
	その他	0
	合計	31,499,442

③ 施設の概要

施設名	吉田川流域下水道事業	
	大和浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	電気棟	1 棟
	自家発電装置	1 基
	沈砂池	26.68 m <sup>3</sup> (2 池)
	最初沈殿池	3,510 m <sup>3</sup>
	反応タンク	14,154 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	4,914 m <sup>3</sup>
	塩素混和池	574 m <sup>3</sup>
汚泥処理施設	重力濃縮施設	3 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	海老沢ポンプ場	
	大和・富谷ポンプ場	
	大郷ポンプ場	
	大和・大衡ポンプ場	



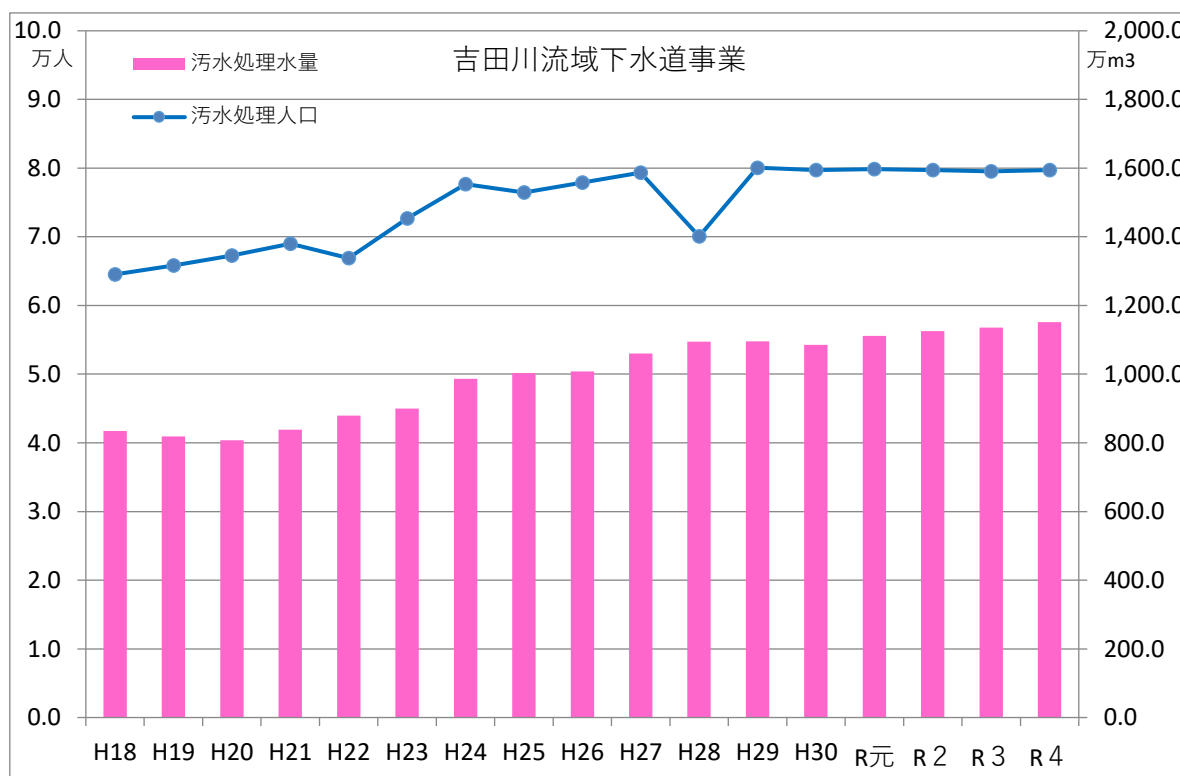
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
B 処理人口 人	79,717	79,528	79,728	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	11,249,495	11,360,090	11,611,224	10,999,000	11,245,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	11,249,495	11,360,090	11,611,224	10,999,000	11,245,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	30,736	31,124	31,812	30,134	30,808
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
G 管渠費 千円	35,153	18,850	23,049	34,370	32,811
H ポンプ場費 千円	106,453	41,360	0	0	0
I 処理場費 千円	547,446	636,294	457	293	1,561

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



● 料金等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
負 担 金 千円	537,726	543,012	150,990	2,269	132,965
負 担 金 単 価 円/m <sup>3</sup>	47.8	47.8	47.8	47.8	58.6

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

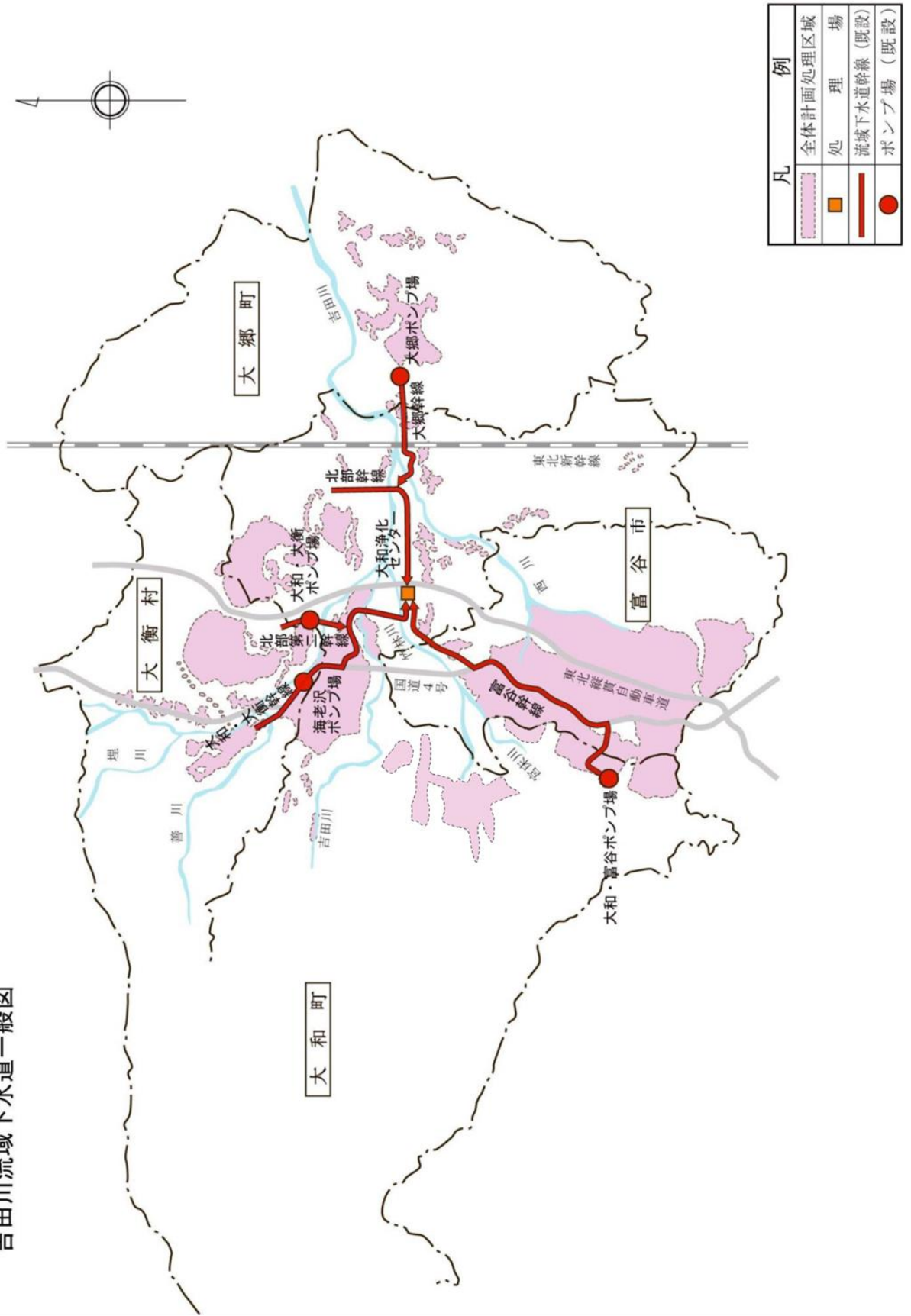
● 収支状況

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
収入	営業収益(除受託) 千円	537,726	543,012	155,990	7,269	137,965
	うち料金収入 千円	537,726	543,012	150,990	2,269	132,965
	営業外収益 千円	901,133	820,566	642,748	643,496	641,185
	特別収益 千円	67,425	12,902	109,314	6,547	47,289
	計 千円	1,506,284	1,376,480	908,051	657,312	826,439
支出	営業費用 千円	1,393,786	1,342,421	597,463	574,357	660,770
	営業外費用 千円	22,272	16,416	25,313	37,461	41,540
	特別損失 千円	105,735	24,912	167,430	21,337	62,889
	総費用(除受託) 千円	1,521,793	1,383,748	790,206	639,155	711,199
	計 千円	1,521,793	1,383,748	790,206	639,155	711,199
当年度純利益 千円	△15,509	△7,268	117,846	18,157	115,240	

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

吉田川流域下水道一般図



(5) 北上川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川西側に位置する2市(石巻市・東松島市)から流入する汚水を処理するものです。

平成3年度に事業に着手し、平成10年度に一部供用を開始しました。現在の管渠は27.5kmが整備され、令和4年度末の処理区域人口は94.0人、下水道処理人口普及率は75.6%となっています。

● 令和6年の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	7,841,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	21,482 m <sup>3</sup>

● 北上川下流流域計画一覧表(令和5年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	19,876ha		
処理面積	3,746.8ha	2,921.9ha	2,424.0ha
処理人口	99,000人	98,070人	94,032人
処理能力	48,500 m <sup>3</sup> /日	38,800 m <sup>3</sup> /日	38,800 m <sup>3</sup> /日
系列数	3	2	2
管渠延長	27,560m	27,560m	27,560m
ポンプ場	3箇所	3箇所	3箇所
計画目標年度	令和17年度	令和8年度	-

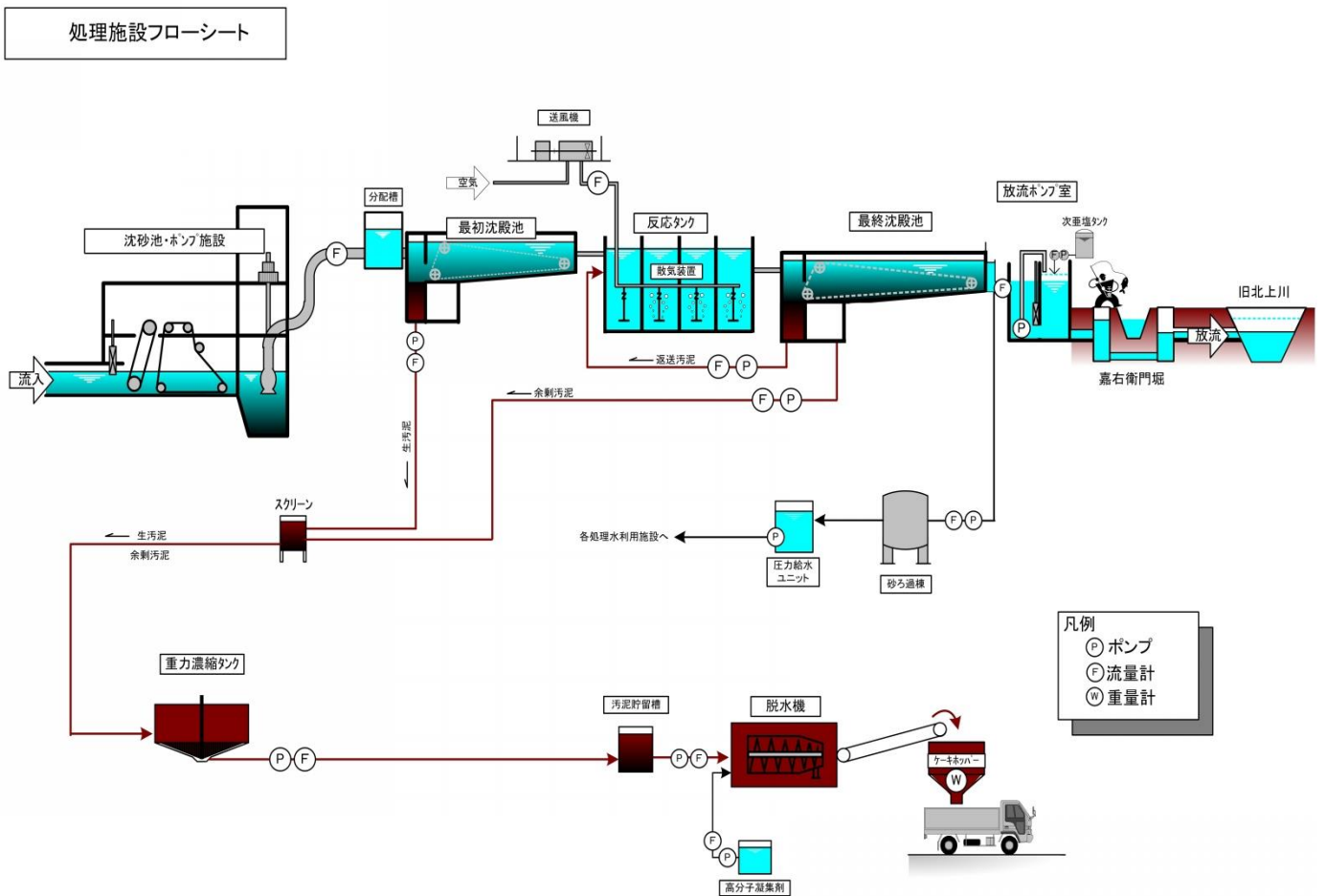
● 関連市町日平均汚水流入量(令和4年実績) (単位:m<sup>3</sup>/日)

市町村名	汚水量
石巻市	13,899
東松島市	8,463
合計	22,362

● 沿革及び認可関係(令和5年3月31日現在)

事業着手年度	平成3年度
供用開始年月日	平成10年4月1日
当初認可取得年月日	平成4年4月13日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和9年3月31日

■ 石巻浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和4年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	20,561,429
	起 債	7,072,219
	他会計繰入金	1,102,529
	市町分担金	8,115,469
	そ の 他	0
	合 計	36,851,646

③ 施設の概要

施設名	北上川下流流域下水道事業	
	石巻浄化センター	
水処理施設	管理本館	1 棟
	沈砂池ポンプ棟(送風機, 自家発電装置)	1 棟
	沈砂池	巾 1.4m×長 11.5m×4 池
	最初沈殿池	2,332 m <sup>3</sup>
	反応タンク	13,231 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	6,318 m <sup>3</sup>
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	重力濃縮槽	2 槽
	重力濃縮機棟	1 棟
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	河南ポンプ場	
	鳴瀬ポンプ場	
	矢本ポンプ場	

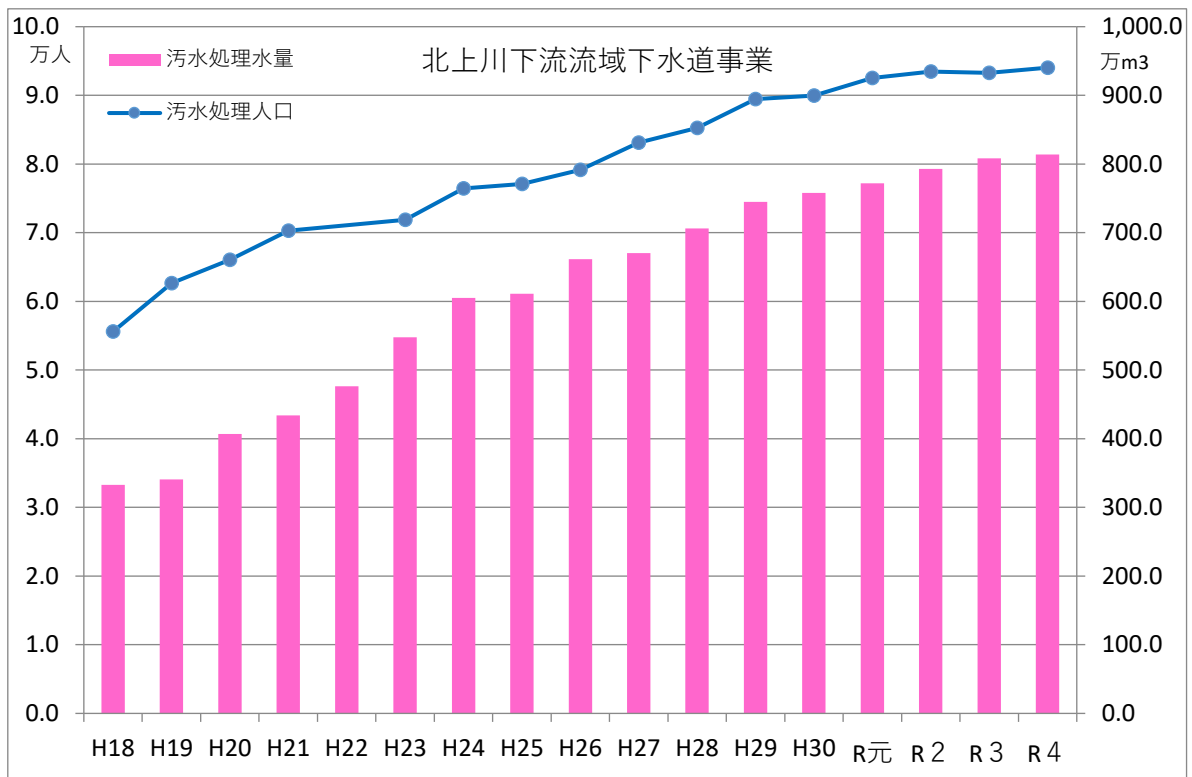
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800
B 処理人口 人	93,471	93,284	94,032	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	7,928,325	8,084,755	8,150,672	6,940,000	7,841,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	7,928,325	8,084,755	8,150,672	6,940,000	7,841,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	21,662	22,150	22,331	19,014	21,482
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800
G 管渠費 千円	15,414	11,363	8,198	18,868	13,292
H ポンプ場費 千円	20,894	10,606	20,093	14,866	25,884
I 処理場費 千円	514,160	607,627	564,219	614,491	687,298

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
負担金 千円	636,644	649,206	653,358	653,241	715,099
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	80.3	80.3	80.3	80.3	91.2

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

● 収支状況

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
収入	営業収益(除受託) 千円	636,644	649,206	653,358	653,241	715,099
	うち料金収入 千円	636,644	649,206	653,358	653,241	715,099
	営業外収益 千円	1,012,340	992,703	1,014,793	977,366	843,199
	特別収益 千円	54,625	14,886	48,144	24,096	5,227
	計 千円	1,703,609	1,656,795	1,716,295	1,654,703	1,563,525
支出	営業費用 千円	1,279,662	1,340,699	1,312,317	1,375,312	1,445,079
	営業外費用 千円	64,464	35,677	40,515	60,727	53,304
	特別損失 千円	163,977	16,920	79,281	32,106	6,927
	総費用(除受託) 千円	1,508,103	1,393,295	1,432,113	1,474,145	1,511,310
	計 千円	1,508,103	1,393,295	1,432,113	1,474,145	1,511,310
当年度純利益 千円		195,505	263,500	284,182	180,558	52,215

※ 消費税を含む。R2～R4 は決算ベース、R5 は最終現計予算ベース、R6 は当初予算ベースで作成。





⑤ 再生可能エネルギーの導入

● 北上川下流流域下水道事業 石巻浄化センター太陽光発電事業

・事業概要

流域下水道事業においては、高度成長期に策定された計画水量と現在の処理量には乖離があり、処理場施設には将来計画用としての未利用地があることから、これら未利用資産の有効活用が必要となっている。

そのため、石巻浄化センターの未利用地(=第3系列の建設予定地等)を活用し、太陽光発電を行うもの。

- ・事業主体 企業局
- ・全体事業費 約2.1億円(県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入予定)
- ・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和6年度(予定)
- ・事業開始 令和7年度から(予定)
- ・年間発電量 40万kwh/年(発電出力 400kw)(予定)

・イメージ図



画像 ©2024 Google、画像 ©2024 Airbus

・事業スケジュール(予定)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
詳細検討	↔						
関係機関協議	↔						
設計		↔					
工事			↔				
事業開始				●			

(6) 北上川下流東部流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川東側に位置する1市1町(石巻市・女川町)から流入する汚水を処理するものです。

平成8年度に事業着手し、平成12年度に一部供用(旧石巻市公共下水道分)を開始しました。現在の管渠は43.4kmが整備され、令和4年度末の処理区域人口は37.0千人、下水道処理人口普及率は78.6%に達しています。

● 令和6年の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	4,586,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	12,564 m <sup>3</sup>

● 北上川下流東部流域計画一覧表(令和5年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	30,969ha		
処理面積	1,920.7ha	1,757.8ha	1,477.0ha
処理人口	31,100人	35,510人	37,055人
処理能力	16,600 m <sup>3</sup> /日	16,600 m <sup>3</sup> /日	25,300 m <sup>3</sup> /日
系列数	3	3	3
管渠延長	43,450m	43,450m	43,450m
ポンプ場	17箇所	17箇所	16箇所
計画目標年度	令和17年度	令和8年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量(令和4年実績)(単位: m<sup>3</sup>/日)

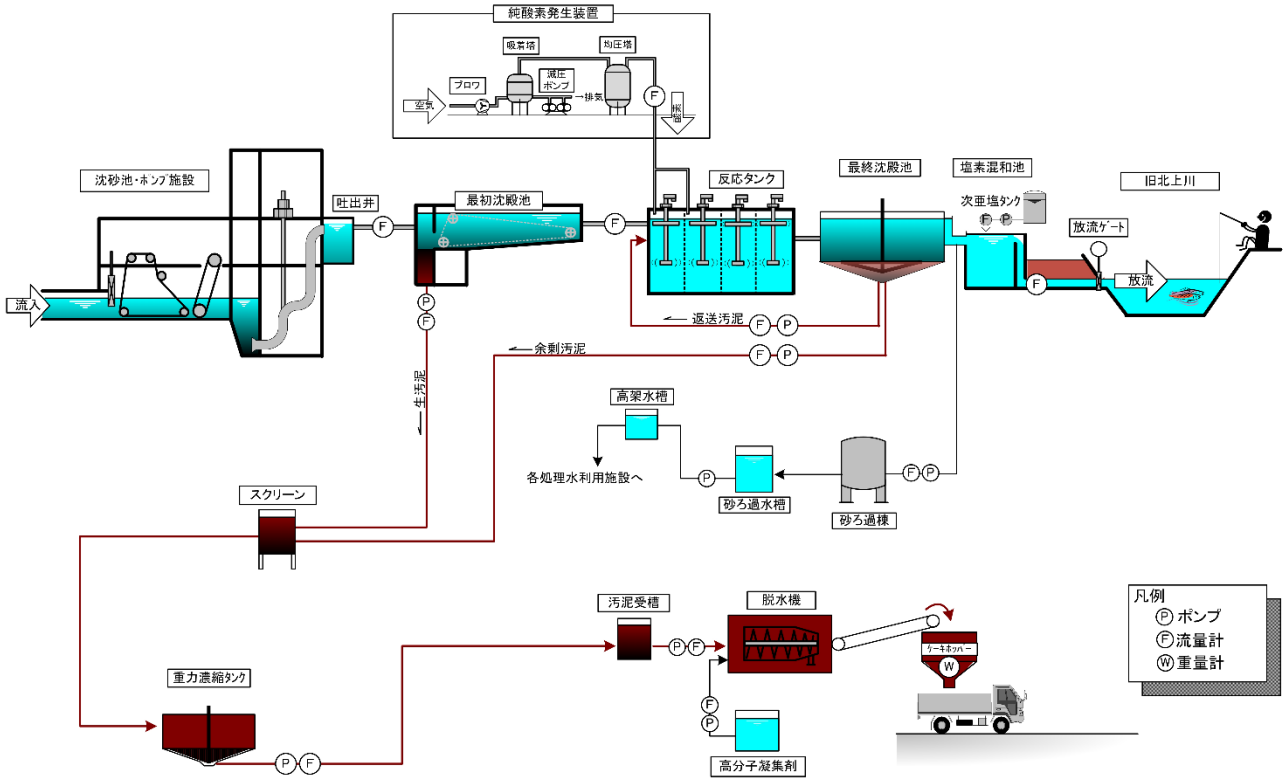
市町村名	汚水量
石巻市	10,516
女川町	1,618
合計	12,134

● 沿革及び認可関係(令和5年3月31日現在)

事業着手年度	平成8年度
供用開始年月日	平成12年4月1日
当初認可取得年月日	平成9年1月29日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和9年3月31日

■ 石巻東部浄化センター処理フロー

6. 処理施設フローシート



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和4年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	12,030,569
	起 債	5,025,987
	他会計繰入金	347,782
	市町分担金	5,346,704
	そ の 他	0
	合 計	22,751,042

③ 施設の概要

施設名	北上川下流東部流域下水道事業	
	石巻東部浄化センター	
水処理施設	中央管理棟・沈砂池ポンプ棟 (自家発電装置)	1 棟
	ポンプ棟	1 棟
	水処理棟	1 棟
	最初沈殿池	2,113 m <sup>3</sup>
	反応タンク	7,382 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	6,477 m <sup>3</sup>
	砂ろ過棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	1 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	桃生第 1 ポンプ場 桃生第 2 ポンプ場 桃生第 3 ポンプ場 河北第 1 ポンプ場 河北第 2 ポンプ場 河北第 3 ポンプ場 河北第 4 ポンプ場 河北第 5 ポンプ場 石巻第 1 ポンプ場 石巻第 2 ポンプ場 石巻第 2-1 ポンプ場 女川第 1 ポンプ場 女川第 2 ポンプ場 石巻第 4 ポンプ場 石巻第 5 ポンプ場 石巻第 6 ポンプ場	

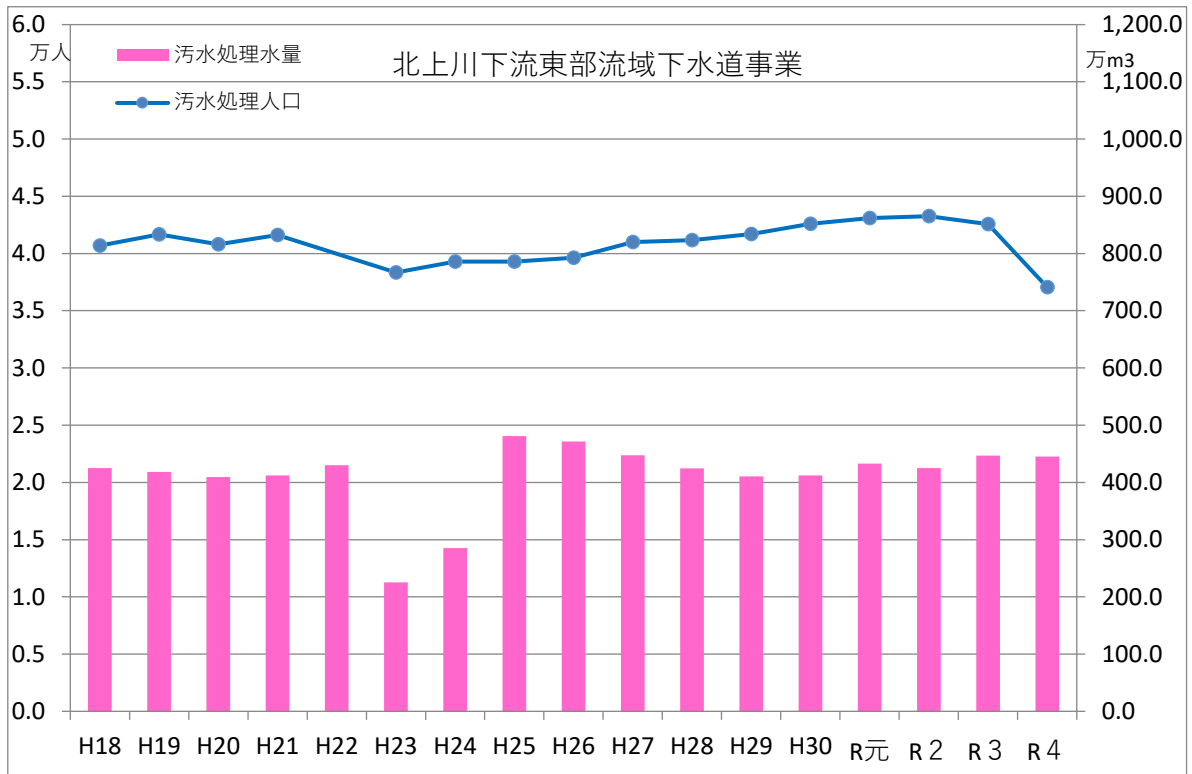
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
B 処理人口 人	43,260	42,567	37,055	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	4,249,899	4,469,659	4,491,161	4,288,000	4,586,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	4,249,899	4,469,659	4,491,161	4,288,000	4,586,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	11,612	12,246	12,305	11,748	12,564
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
G 管渠費 千円	12,092	13,093	20,569	17,200	27,321
H ポンプ場費 千円	64,284	84,500	59,500	71,267	91,322
I 処理場費 千円	457,124	484,752	517,585	507,900	574,133

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

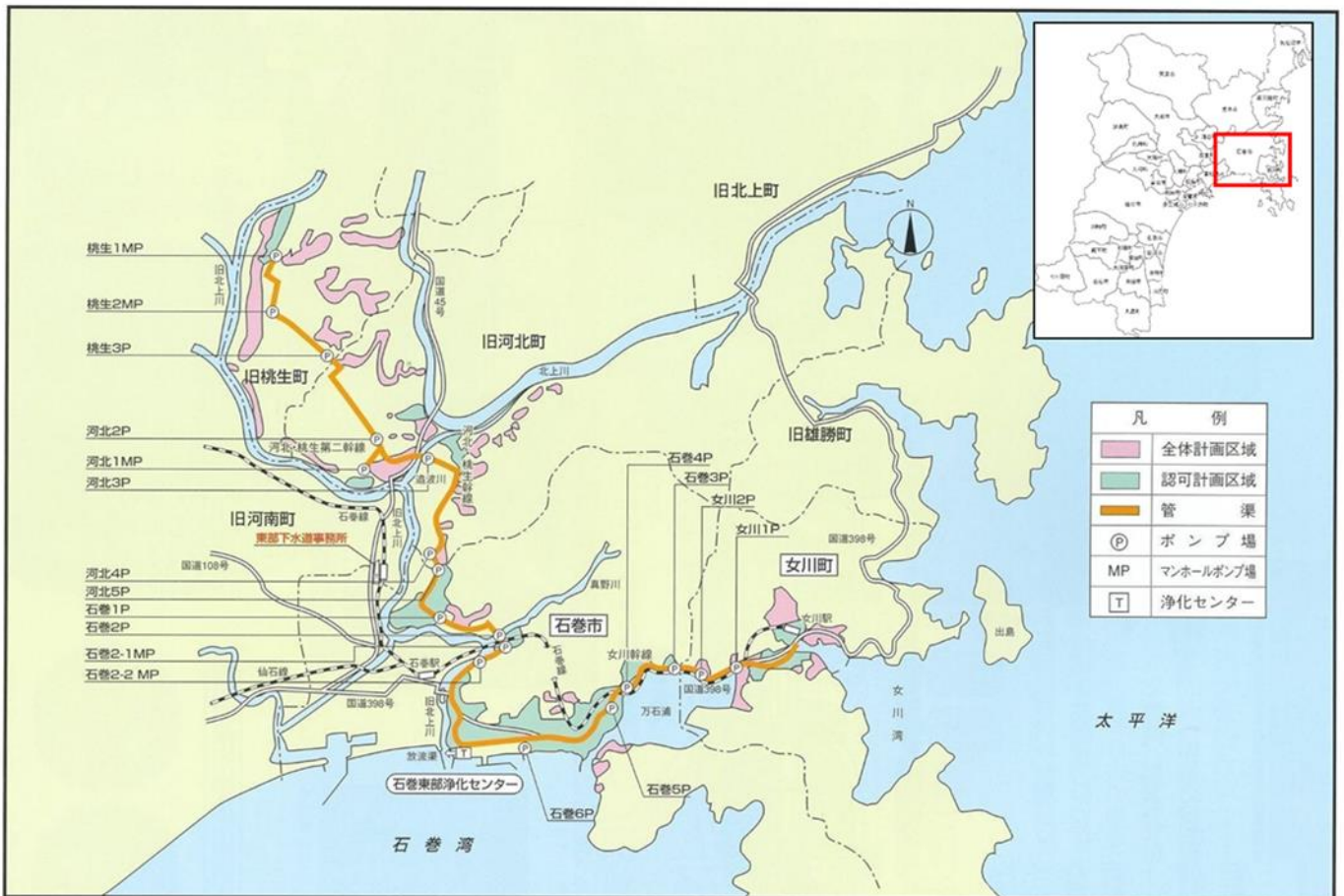
年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
負担金 千円	534,637	562,283	560,296	540,135	677,352
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	125.8	125.8	125.8	125.8	147.7

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

● 収支状況

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
収 入	営業収益(除受託) 千円	534,637	562,283	560,296	540,135	677,352
	うち料金収入 千円	534,637	562,283	560,296	540,135	677,352
	営業外収益 千円	1,326,843	1,149,561	1,136,399	1,183,654	1,204,704
	特別収益 千円	56,053	14,217	49,157	25,442	30,583
	計 千円	1,917,534	1,726,061	1,745,852	1,749,231	1,912,639
支 出	営業費用 千円	1,691,021	1,599,387	1,598,611	1,588,390	1,734,034
	営業外費用 千円	63,492	39,506	43,885	104,180	97,845
	特別損失 千円	122,251	61,062	73,678	34,623	40,683
	総費用(除受託) 千円	1,876,764	1,699,956	1,716,174	1,733,193	1,878,562
	計 千円	1,876,764	1,699,956	1,716,174	1,733,193	1,878,562
当年度純利益 千円	40,770	26,105	29,678	16,038	34,077	

※ 消費税を含む。R2～R4 は決算ベース、R5 は最終現計予算ベース、R6 は当初予算ベースで作成。





⑤ 再生可能エネルギーの導入

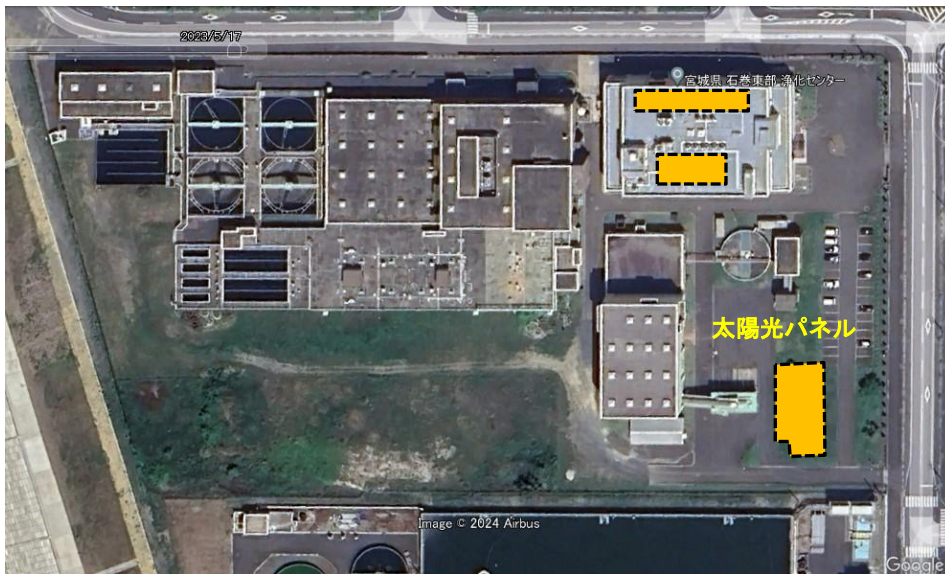
● 北上川下流東部流域下水道事業 石巻東部浄化センター太陽光発電事業

・事業概要

石巻東部浄化センターは、高負荷な流入水に対応する純酸素活性汚泥法により汚水処理を行っているが、この処理方式では他の処理方式に比べ多くの電力を必要とするため、電気料金による経営への負担も大きい。そのため、浄化センター敷地内の駐車場、管理棟屋上等を有効に活用し、太陽光発電を行うもの。

- ・事業主体 企業局
- ・全体事業費 約0.4億円(県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入予定)
- ・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和6年度(予定)
- ・事業開始 令和7年度から(予定)
- ・年間発電量 5万kWh/年(発電出力 50kW)(予定)

・イメージ図



画像 ©2024 Google、画像 ©2024 Airbus

・事業スケジュール

	R4	R5	R6	R7	R8	R9
詳細検討	↔					
関係機関協議	↔					
設計		↔				
工事			↔			
事業開始				●		

(7) 迫川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加に伴う、ラムサール条約の指定登録地である伊豆沼をはじめとする公共用水域の水質悪化防止等を目的として、2市(栗原市・登米市)から流入する汚水を処理するものです。

平成5年度に事業着手し、平成12年7月に一部供用を開始しました。現在の管渠は55.4kmが整備され、令和4年度末の処理区域人口は28.5千人、下水道処理人口普及率は47.9%となっています。

● 令和6年の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	2,662,000 m <sup>3</sup>
日平均処理汚水量	7,293 m <sup>3</sup>

● 迫川流域計画一覧表(令和5年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	58,239ha		
処理面積	2,186.7ha	1,795.5ha	1,477ha
処理人口	24,400人	26,163人	28,545人
処理能力	14,475 m <sup>3</sup> /日	14,475 m <sup>3</sup> /日	9,650 m <sup>3</sup> /日
系列数	3	3	2
管渠延長	55,470m	55,470m	55,470m
ポンプ場	10箇所	10箇所	10箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

● 関連市日平均汚水流入量(令和4年実績)(単位:m<sup>3</sup>/日)

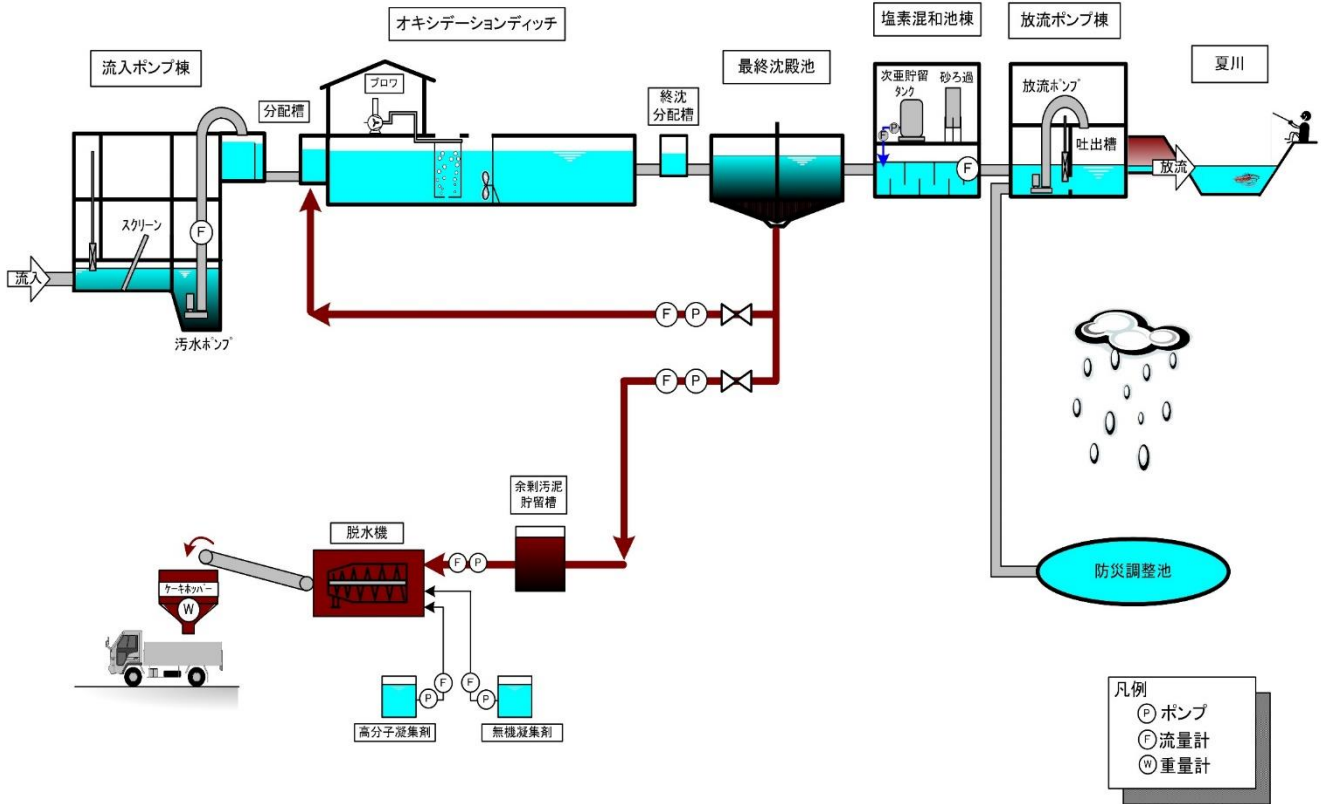
市町村名	汚水量
登米市	1,291
栗原市	5,694
合計	6,985

● 沿革及び認可関係(令和5年3月31日現在)

事業着手年度	平成5年度
供用開始年月日	平成12年7月1日
当初認可取得年月日	平成5年12月9日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 石越浄化センター処理フロー

処理施設フローシート



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和4年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	18,210,296
	起 債	7,428,047
	他会計繰入金	948,531
	市町分担金	8,135,312
	そ の 他	0
	合 計	34,951,767

③ 施設の概要

施設名	迫川流域下水道事業	
	石越浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	自家発電装置	1 基
	流入ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッチ	9,716 m <sup>3</sup>
	最終沈殿池	4 池
	塩素混和池棟	1 棟
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	若柳第 1 ポンプ場	
	若柳第 2 ポンプ場	
	若柳第 3 ポンプ場	
	志波姫ポンプ場	
	一迫ポンプ場	
	金成第 1 ポンプ場	
	金成第 2 ポンプ場	
	栗駒第 1 ポンプ場	
	栗駒第 2 ポンプ場	
	栗駒第 3 ポンプ場	

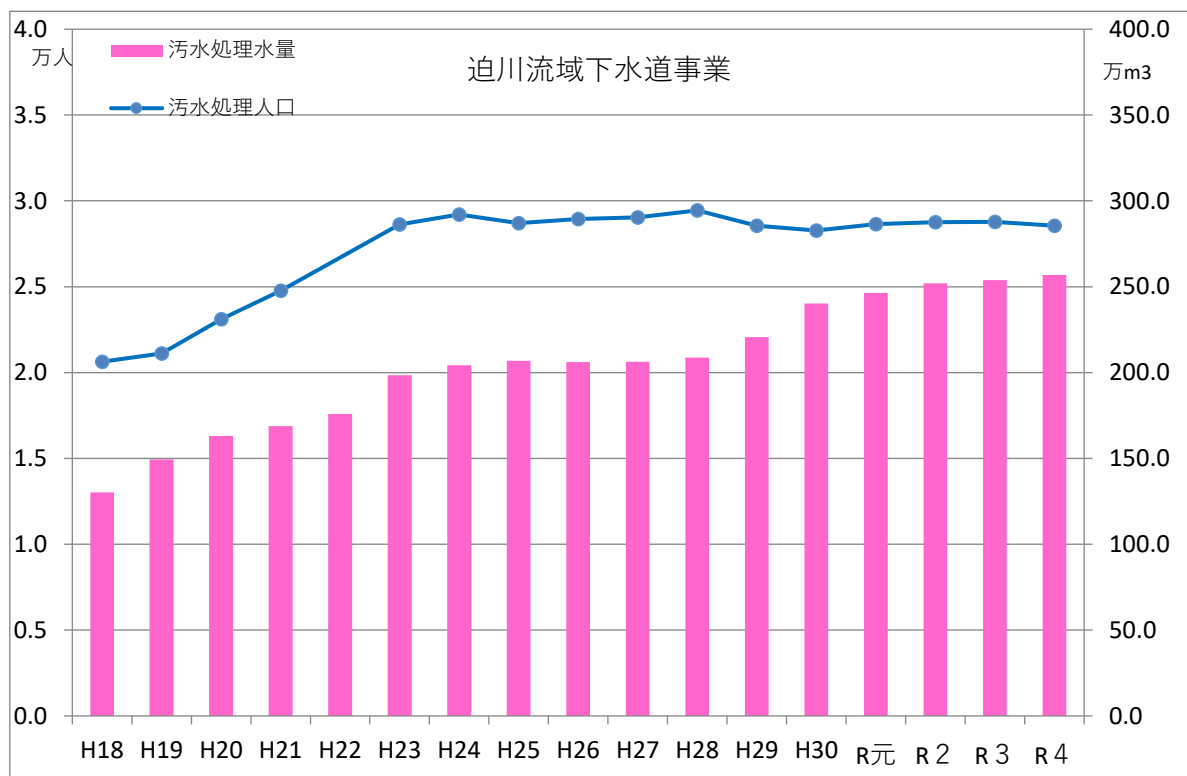
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
A 施設能力 m <sup>3</sup> /日	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
B 処理人口 人	28,754	28,779	28,545	集計中	—
C 処理水量 m <sup>3</sup> /年	2,519,068	2,537,584	2,603,745	2,522,000	2,662,000
D 有収水量 m <sup>3</sup> /年	2,519,068	2,537,584	2,603,745	2,522,000	2,662,000
E 1日平均処理量 m <sup>3</sup>	6,883	6,952	7,134	6,910	7,293
F 1日最大処理量 m <sup>3</sup>	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
G 管渠費 千円	3,838	8,676	5,883	11,042	23,598
H ポンプ場費 千円	49,226	73,630	56,319	69,517	79,071
I 処理場費 千円	200,675	208,839	252,256	276,623	278,508

※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
負担金 千円	334,280	336,737	340,781	325,188	392,112
負担金単価 円/m <sup>3</sup>	132.7	132.7	132.7	132.7	147.3

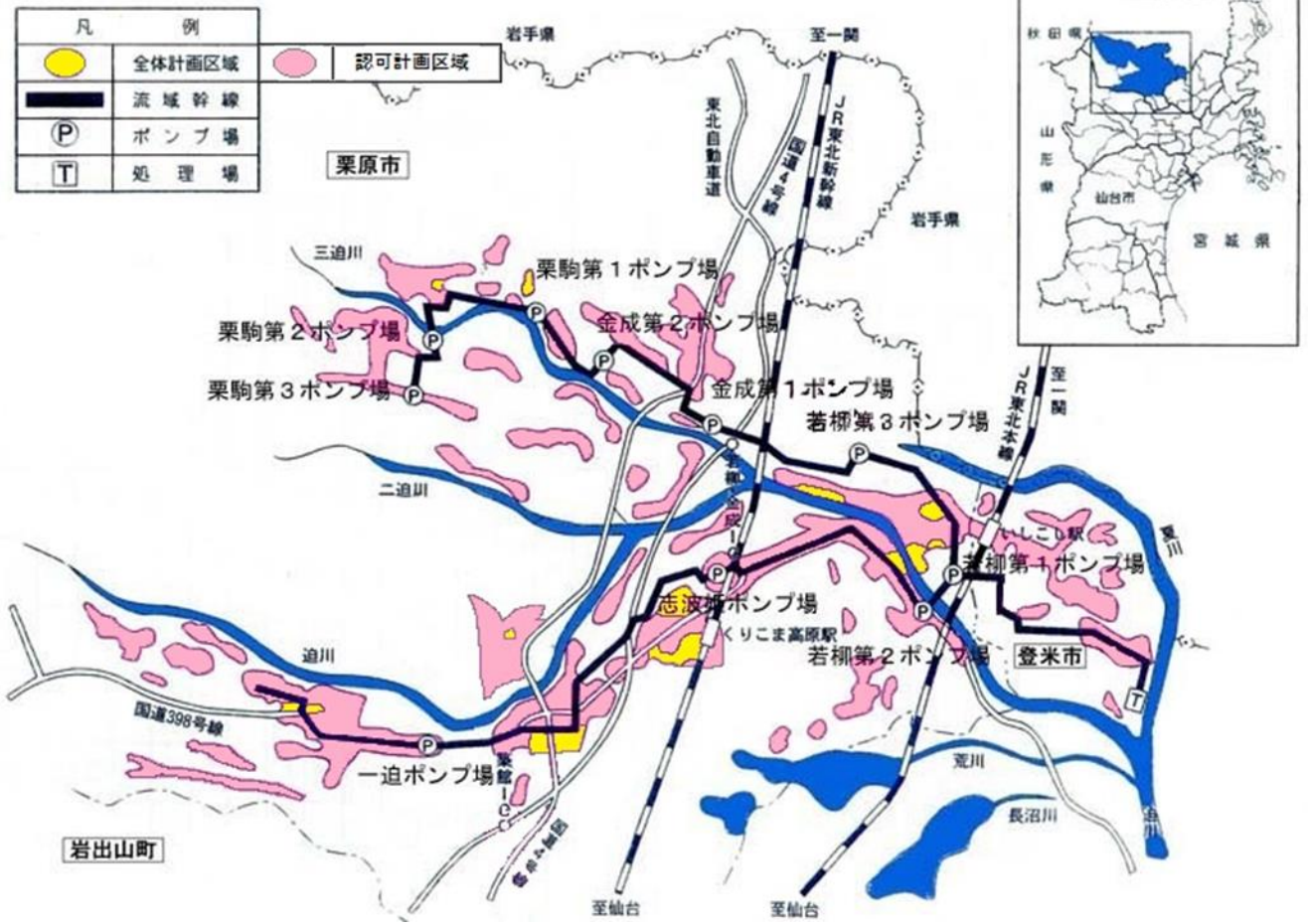
※ 消費税を含む。R2～R4は決算ベース、R5は最終現計予算ベース、R6は当初予算ベースで作成。

● 収支状況

年 度		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
収 入	営業収益(除受託) 千円	334,280	336,737	340,781	325,188	392,112
	うち料金収入 千円	334,280	336,737	340,781	325,188	392,112
	営業外収益 千円	1,000,659	931,128	942,085	880,835	759,495
	特別収益 千円	65,134	43,854	26,891	17,667	7,263
	計 千円	1,400,073	1,311,720	1,309,757	1,223,690	1,159,170
支 出	営業費用 千円	1,076,817	1,001,371	1,008,691	985,602	981,267
	営業外費用 千円	54,787	44,957	45,559	51,761	49,038
	特別損失 千円	100,076	77,385	31,803	1,893	9,563
	総費用(除受託) 千円	1,231,680	1,123,712	1,086,053	1,045,256	1,045,868
	計 千円	1,231,680	1,123,712	1,086,053	1,045,256	1,045,868
当年度純利益 千円	168,393	188,007	223,704	178,434	113,302	

※ 消費税を含む。R2～R4 は決算ベース、R5 は最終現計予算ベース、R6 は当初予算ベースで作成。

凡 例	
	全体計画区域
	認可計画区域
	流域幹線
	ポンプ場
	処理場



⑤ 再生可能エネルギーの導入

● 迫川流域下水道事業 石越浄化センター太陽光発電事業

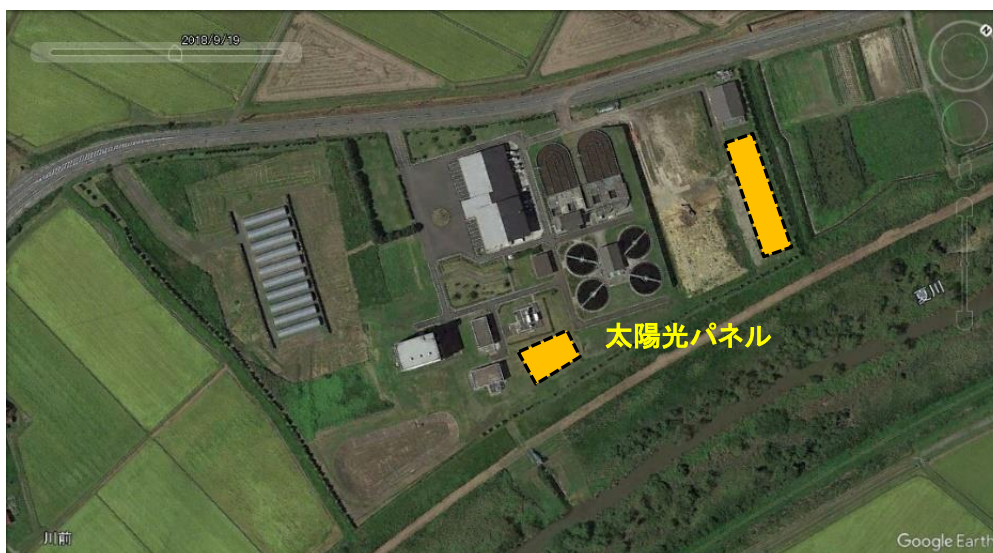
・事業概要

流域下水道事業においては、高度成長期に策定された計画水量と現在の処理量には乖離があり、処理場施設には将来計画用としての未利用地があることから、これら未利用資産の有効活用が必要となっている。

そのため、石越浄化センターの未利用地（＝第3系列の建設予定地等）を活用し、太陽光発電を行うもの。

- ・事業主体 企業局
- ・全体事業費 約1.5億円（県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入予定）
- ・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和6年度（予定）
- ・事業開始 令和7年度から（予定）
- ・年間発電量 25万kwh／年（発電出力 250kw）（予定）

・イメージ図



画像 ©2024 Google、画像 ©2024 Airbus

・事業スケジュール

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
詳細検討	↔						
関係機関協議	↔	↔					
設計		↔					
工事			↔				
事業開始				●			







宮城県企業局